

授業科目名 (サブタイトル(副題))	衣生活の知識		
担当者	古田 貴美子、本保 弘子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他			
<p>[到達目標]</p> <p>①衣服素材やインテリア素材に関する知識を身に付け、生活するうえで適切な取り扱いができる。 ②布を使って身の回りの小物を作ることができる。 ③衣生活や住生活をよりよくするために、工夫することができる。</p> <p>[授業概要]</p> <p>衣生活だけでなく、住生活に関する内容を含みます。快適な生活を過ごすためには、ファッションやインテリアに関する知識を身に付けることが有効であり、素材の知識が役に立ちます。衣服について、形、サイズ、着方や洗濯・保管に関する基本的な内容全般を講義します。また、布を使って簡単に小物作りができるように基本の技術の習得を目指します。手縫いとミシン縫いにより巾着袋、手さげ袋などを製作します。 製作する小物の材料費は自己負担です。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>服飾やインテリアなどに関して、店頭や新聞雑誌、WEB上の様々な造形から、参考になる(好きな)資料を集めてください。 各回の講義についての予習・復習を行うこと(各回、予習・復習合わせて1時間程度)。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 生活とファッション(古田) 衣服の素材と管理(古田) 「衣類の収納の工夫」発表会の説明、 ウインドトリートメント(カーテン、シェードなど)(本保) 衣類の収納家具、変化する子ども部屋のインテリアコーディネートスケッチ(本保) 「衣類の収納の工夫」発表会(本保) <p><小物の製作></p> <ol style="list-style-type: none"> 作成計画、布地の扱い方、道具の使用方法(古田) 布地の裁断、しるしつけ(古田) 手縫いの技術…基本縫いの練習、お手玉製作(古田) ミシンとアイロンの使用方法…コースター製作(古田) ミシン縫いの技術…巾着袋製作(古田) ミシン縫いの技術…裏つき巾着袋製作(古田) ミシン縫いの技術…手さげ袋製作(古田) ミシン縫いの技術…手さげ袋製作(古田) <p>[資料の配付方法と掲載場所]</p> <p>授業資料は当日に紙媒体で配布する。</p> <p>[成績評価方法]</p> <p>レポート(30%)、作品(50%)、プレゼンテーション(20%)で評価します。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]</p> <p>レポートと作品の講評を返却します。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p>			

授業科目名 (副題)	衣生活の知識
担当者	古田 貴美子、本保 弘子
<p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>【教養1-1】自らの専門領域を越え、人生社会を牽引するための知識・技術を身に付けている。 成績評価方法: レポート、作品</p> <p>【教養2-1】自らの専門領域を越え、問題解決を図ろうとする創造性を身に付けている。 成績評価方法: レポート、プレゼンテーション</p> <p>[テキスト(ISBN)]</p> <p>書籍名: プリント配布 著者名: 出版社名: ISBN:</p> <p>[参考文献(ISBN)]</p> <p>書籍名: 衣生活学 著者名: 佐々井 啓 出版社名: 朝倉書店 ISBN: 9784254606331</p>	

授業科目名 (サブタイトル(副題))	異文化コミュニケーション		
担当者	桂山 康司		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他			
<p>[到達目標]</p> <p>①学問の最先端を彩る用語を理解することを通じて、能動的研究姿勢を身に付けることができる。 ②言葉のもつ、多様でニュアンス豊かな表現のあり方を感じ、言語表現に対する感性を鍛錬することができる。 ③相手の気持ちや内面を正しく理解できるようになる。 ④異文化理解を通じて、人間理解を深めることができる。</p> <p>[授業概要]</p> <p>～文化、コミュニケーション、異文化間能力、学際性～ まず、'culture' という語がラテン語から英語に移入され、その後「文化」という重要な語義を発達させることになる経緯を辿り、'culture' という語の語義変化の歴史を確認します。次に、「コミュニケーション」、「異文化間能力」、「学際性」といった関連する学術用語成立の背景を知ったうえで、異文化コミュニケーションの、外国語教育や教養教育、さらには学問体系全体において占める意義について詳述し、異文化コミュニケーションの重要性についての理解を深めます。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>各回の講義についての予習・復習を行うこと(各回、予習・復習合わせて4時間程度)。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.導入。関連する基本的諸概念(文化、コミュニケーション、間主観性、異文化間能力、学際性)の相互関連について、簡単な見取り図を提示します。 2.文化('culture')とは何か(1)語源と英語への移入 3.文化('culture')とは何か(2)語義変化 4.文化('culture')とは何か(3)用語の確立 5.コミュニケーションについて 6.異文化間能力(intercultural competence)について 7.外国語教育と異文化コミュニケーション 8.教養教育と異文化コミュニケーション 9.学際性(interdisciplinarity)について 10.二つの文化('the two cultures')について 11.'logos'(科学的知)と'mythos'(物語的知)について 12.哲学・知識・学問 13.理解度確認テスト並びにその解説を行います。 <p>[資料の配付方法と掲載場所]</p> <p>授業資料は当日に紙媒体で配布する。</p> <p>[成績評価方法]</p> <p>理解度確認小レポート試験(40%)、期末レポート試験(60%)で評価します。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]</p> <p>レポート回収後、解答の解説を行います。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p>			

授業科目名 (副題)	異文化コミュニケーション
担当者	桂山 康司
<p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>【教養1-1】自らの専門領域を越え、人生社会を牽引するための知識・技術を身に付けている。 成績評価方法:理解度確認小レポート試験(40%)、期末レポート試験(60%)で評価します。</p> <p>[テキスト(ISBN)]</p> <p>[参考文献(ISBN)]</p> <p>書籍名:完訳 キーワード辞典 著者名:レイモンド・ウィリアムズ 出版社名:平凡社ライブラリー ISBN:9784582767384 書籍名:イギリス文化を学ぶ人のために 著者名:桂山康司他 編 出版社名:世界思想社 ISBN:9784790710721</p>	

授業科目名 (サブタイトル(副題))	インターンシップ		
担当者	山本 美貴		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他			
<p>[到達目標]</p> <p>① 企業等での実習・研修体験を通して、社会性や価値観を養い、自分なりの「働くこと」に対する考えを持つことができるようになる。 ② 授業で得た知識を社会で生かすことができる。 ③ 実体験によって、主体的な職業選択能力を高めることができるようになる。</p> <p>[授業概要]</p> <p>企業担当者が、企業とのかかわりや役割など、その実践内容を直接指導します。 本格的な就職活動を開始する前に、企業で一定期間の就業体験を行い、企業理解を深めます。仕事を通じて自分自身の適性や適職を発見し、今後のライフプランやキャリアプランを形成する上での基礎学習とします。 ・単位認定するには、企業での実習・学内での事前学習・事後学習が必要です。 ・希望学生は初回のガイダンスに必ず出席してください。その後は、各自、参加申告書に基づき、個々に活動を行います。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>・参加するインターンシップ・プログラムの趣旨を理解し、どのような人が関わっているかに興味を持つようにしてください。 ・参加する企業の下調べを充分に行ってください。 ・日頃から地域の行事や体験学習などに関心を持つようにしてください。</p> <p>[授業計画]</p> <p>実施団体や企業により異なりますが、実施期間は一社につき5日間以上とします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. インターンシップ制度説明会及びガイダンス 2. インターンシップ企業説明会 3. 企業研究とエントリーシート作成一応募 4. 第1回 事前学習会(協会主催の場合は別日程) <ul style="list-style-type: none"> ・企業研究と心得について ・協会主催の場合(中小企業経営者による講演、先輩学生によるインターンシップ体験談発表、安全教育などを実施) 5. 第2回 事前学習会 <ul style="list-style-type: none"> ・マナー研修—実習先での心得や注意事項、挨拶状・礼状の書き方、電話のかけ方など 6. インターンシップ実施 7. 報告書作成(就業体験の日数分) 8. 事後学習会1、(協会主催の研修会は別日程) <ul style="list-style-type: none"> ・発表用パワーポイント作成について 9. 事後学習会2、 <ul style="list-style-type: none"> ・パワーポイントによる就業体験報告 ・振り返り <p>[資料の配付方法及び掲載場所]</p> <p>授業資料は当日に紙媒体で配布する</p> <p>[成績評価方法]</p> <p>就業先からの実施報告書及び評価票(50%)と、最終報告のプレゼンテーション(50%)で評価します。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]</p> <p>提出物は後日確認して返却します。 プレゼンテーション発表は、その場で講評します。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p>			

授業科目名 (副題)	インターンシップ
担当者	山本 美貴
<p>【この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)】 【教養3-1】主体的に社会参画を果たそうとする自立心を身に付けている。 成績評価方法:就業先からの実施報告書及び評価票と、最終報告のプレゼンテーション</p> <p>【テキスト(ISBN)】 書籍名:特に定めません 著者名: 出版社名: ISBN:なし</p> <p>【参考文献(ISBN)】 書籍名:『インターンシップ』 著者名:上田晶美監修 出版社名:日経VIDEO (DVD) ISBN:なし</p>	

授業科目名 (サブタイトル(副題))	インターンシップ		
担当者	大串 美沙		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他			

[到達目標]

- ①企業等での実習・研修体験を通して、社会性や価値観を養い、自分なりの「働くこと」に対する考えを持つことができるようになる。
- ②授業で得た知識を社会で生かせることができる。
- ③実体験によって、主体的な職業選択能力を高めることができるようになる。

[授業概要]

企業担当者が、企業とのかかわりや役割など、その実践内容を直接指導します。
本格的な就職活動が始める前に、企業で一定期間の就業体験を行い、企業理解を深めます。仕事を通じて自分自身の適性や適職を発見し、今後のライフプランやキャリアプランを形成する上での基礎学習とします。

- ・単位認定するには、企業での実習・事前学習・事後学習・レポート作成などを含めて所定の学修が必要です。
- ・希望学生は初回のガイダンスに必ず出席してください。その後は、各自、参加申告書に基づき、個々に活動を行います。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

- ・参加するインターンシップ・プログラムの趣旨を理解し、どのような人が関わっているかに興味を持つようにしてください。
- ・参加する企業の下調べを充分に行ってください。
- ・日頃から地域の行事や体験学習などに関心を持つようにしてください。

[授業計画]

実施団体や企業により異なりますが、実施期間は1社につき5日間以上とします。

1. インターンシップ制度説明会及びガイダンス
2. インターンシップ企業説明会
3. 企業研究とエントリーシート作成—応募
4. 第1回 事前学習会(協会主催の場合は別日程)
 - ・企業研究と心得、実習計画の作成
 - ・協会主催の場合(中小企業経営者による講演、先輩学生によるインターンシップ体験談発表、安全教育などを実施)
5. 第2回 事前学習会
 - ・マナー研修—実習先での心得や注意事項、挨拶状・礼状の書き方、電話のかけ方など
6. インターンシップ実施
7. 報告書作成(就業体験の日数分)
8. 事後学習会1、(協会主催の研修会は別日程)
 - ・発表用パワーポイント作成について
9. 事後学習会2、
 - ・パワーポイントによる就業体験報告とレポート作成
 - ・振り返り

[資料の配付方法及び掲載場所]

授業資料は、当日、紙媒体を配布します。

[成績評価方法]

就業先からの実施報告書及び評価票(50%)と、終業後に本人が作成するレポート及びプレゼンテーション(50%)により評価します。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

提出物は後日添削をして返却します。
プレゼンテーション発表は、終了後に講評します。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

授業科目名 (副題)	インターンシップ
担当者	大串 美沙
<p>【この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)】 【教養3-1】主体的に社会参画を果たそうとする自立心を身に付けている。 成績評価方法: 就業先からの実施報告書及び評価票、終業後に本人が作成するレポート及びプレゼンテーション</p> <p>【テキスト(ISBN)】 書籍名:なし 著者名: 出版社名: ISBN:</p> <p>【参考文献(ISBN)】 書籍名:なし 著者名: 出版社名: ISBN:</p>	

授業科目名 (サブタイトル(副題))	インターンシップ		
担当者	大西 眞弓		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他			
<p>[到達目標]</p> <p>①企業等での実習・研修体験を通して、社会性や価値観を養い、自分なりの「働くこと」に対する考えを持つことができるようになる。 ②授業で得た知識を社会で生かせることができる。 ③実体験によって、主体的な職業選択能力を高めることができるようになる。</p> <p>[授業概要]</p> <p>・企業担当者が、企業とのかかわりや役割など、その実践内容を直接指導します。 本格的な就職活動が始める前に、企業で一定期間の就業体験を行い、企業理解を深めます。仕事を通じて自分自身の適性や適職を発見し、今後のライフプランやキャリアプランを形成する上での基礎学習とします。 ・単位認定するには、企業での実習・事前学習・事後学習・レポート作成などを含めて学修が必要です。 ・希望学生は初回のガイダンスに必ず出席してください。その後は、各自、参加申告書に基づき、個々に活動を行います。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>・参加するインターンシップ・プログラムの趣旨を理解し、どのような人が関わっているかに興味を持つようにしてください。 ・参加する企業の下調べを十分に行ってください。 ・日頃から地域の行事や体験学習などに関心を持つようにしてください。</p> <p>[授業計画]</p> <p>実施団体や企業により異なりますが、実施期間は1社につき5日間以上とします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. インターンシップ制度説明会及びガイダンス 2. インターンシップ企業説明会 3. 企業研究とエントリーシート作成一応募 4. 第1回 事前学習会(協会主催の場合は別日程) <ul style="list-style-type: none"> ・企業研究と心得、実習計画の作成 ・協会主催の場合(中小企業経営者による講演、先輩学生によるインターンシップ体験談 発表、安全教育などを実施) 5. 第2回 事前学習会 <ul style="list-style-type: none"> ・マナー研修—実習先での心得や注意事項、挨拶状・礼状の書き方、電話のかけ方など 6. インターンシップ実施 7. 報告書作成(就業体験の日数分) 8. 事後学習会1、(協会主催の研修会は別日程) <ul style="list-style-type: none"> ・発表用パワーポイント作成について 9. 事後学習会2、 <ul style="list-style-type: none"> ・パワーポイントによる就業体験報告とレポート作成 ・振り返り <p>[資料の配付方法と掲載場所]</p> <p>授業資料は当日紙媒体で配付します。</p> <p>[成績評価方法]</p> <p>就業先からの実施報告書及び評価票(50%)と、本人が作成する報告書(体験レポート・プレゼンテーション)(50%)で評価します。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]</p> <p>提出物は後日確認して返却します。 プレゼンテーション発表は、その場で講評します。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p>			

授業科目名 (副題)	インターンシップ
担当者	大西 眞弓
<p>【この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)】</p> <p>【教養3-1】主体的に社会参画を果たそうとする自立心を身に付けている。 成績評価方法:就業先からの実施報告書及び評価票、本人が作成する報告書(体験レポート・プレゼンテーション)</p> <p>【教養3-2】多様化が進む社会において、多様な対話力を身に付けている。 成績評価方法:就業先からの実施報告書及び評価票(50%)と、本人が作成する報告書(体験レポート・プレゼンテーション)</p> <p>【テキスト(ISBN)】 書籍名:特に定めません 著者名:なし 出版社名:なし ISBN:なし</p> <p>【参考文献(ISBN)】 書籍名:インターンシップ 著者名:上田晶美監修 出版社名:日経VIDEO(DVD) ISBN:なし</p>	

授業科目名 (サブタイトル(副題))	英語講読(a)		
担当者	渡邊 理恵子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他			
<p>[到達目標]</p> <p>①英語で書かれた内容を正しく理解するため、語彙力や文法力を補強することができる。 ②英文で展開されているストーリーを正確に読む力を養うため、情報収集能力や論理的な能力を鍛えることができる。 ③英米文学作品のテーマについて考察を深め、幅広い教養を養うことができる。</p> <p>[授業概要]</p> <p>イギリスの作家ウィリアム・シェイクスピアの戯曲『ハムレット』(Hamlet)を編集したテキストを読み、適宜DVDで映像作品を確認しながら、作品解釈を試みる。 本作は、父を亡くしたハムレットによる復讐の物語で、読者に様々な解釈を求めてやまない魅力的な作品である。 講義では、まず実際の場面で使われている英語表現や言葉のニュアンスを理解するため、英文法の挿入を行う。 そして人間の諸問題についての考察を深め、教養を養う。さらに講義形式と演習形式とを組み合わせ、読解力を鍛える。また、英語が苦手な学生でも物語を追えるよう、削除された展開や難解な表現、文化及び社会背景などについては教員が説明する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>次の授業や課題の準備、単語や表現の意味を事前に調べておくこと。授業後、再度授業内容を復習しておくこと。各回の講義についての予習・復習を行うこと(各回、予習・復習合わせて1時間程度)。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. イントロダクション(作者と作品の説明) 2. Chapter 1 3. Chapter 2 4. Chapter 3 5. Chapter 4 6. アダプテーション鑑賞(映画『ハムレット』) 7. Chapter 5 8. Chapter 6 9. Chapter 7 10. Chapter 8 11. 予備日 12. アダプテーション鑑賞(映画『ハムレット』) 13. 後期のまとめ <p>[資料の配付方法と掲載場所]</p> <p>KISSシステムを利用する。</p> <p>[成績評価方法]</p> <p>平常の授業への取り組み(30%)、授業中のクイズ(30%)、レポート試験(40%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]</p> <p>クイズについては全体的に指導、期末レポートについては希望者のみ個別に対応する。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p>			

授業科目名 (副題)	英語講読(a)
担当者	渡邊 理恵子
<p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 【教養1-1】自らの専門領域を越え、人生社会を牽引するための知識・技術を身に付けている。 成績評価方法: 平常の授業への取り組み、授業中のクイズ、レポート試験</p> <p>[テキスト(ISBN)] 書籍名: シンプリー・シェイクスピア 著者名: Jim Knudse 出版社名: 南雲堂 ISBN: 9784523176695</p> <p>[参考文献(ISBN)]</p>	

授業科目名 (サブタイトル(副題))	英語講読(b)		
担当者	渡邊 理恵子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他			
<p>[到達目標]</p> <p>①英語で書かれた内容を正しく理解するため、語彙力や文法力を補強することができる。 ②英文で展開されているストーリーを正確に読む力を養うため、情報収集能力や論理的な能力を鍛えることができる。 ③英米文学作品のテーマについて考察を深め、幅広い教養を養うことができる。</p> <p>[授業概要]</p> <p>イギリスの作家ウィリアム・シェイクスピアの戯曲『ロミオとジュリエット』(Romeo and Juliet)を編集したテキストを読み、適宜DVDで映像作品を確認しながら、作品解釈を試みる。 本作は、恋に落ちたロミオとジュリエットが、誤解や運命のいたずらによって悲劇的運命を迎える恋物語で、世界各国、時代を問わず、人々の心に深い感動を呼び起こしてきた。 本講義では、まず実際の場面で使われている英語表現や言葉のニュアンスを理解するため、英文法の挿入を行う。そして人間の諸問題についての考察を深め、教養を養う。さらに講義形式と演習形式とを組み合わせ、読解力を鍛える。また、英語が苦手な学生でも物語を追えるよう、削除された展開や難解な表現、文化及び社会背景などについては教員が説明する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>次回の授業や課題の準備、単語や表現の意味を事前に調べておくこと。授業後、再度授業内容を復習しておくこと。各回の講義についての予習・復習を行うこと(各回、予習・復習合わせて1時間程度)。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. イントロダクション(作者と作品の説明) 2. Chapter 1 3. Chapter 2 4. Chapter 3 5. Chapter 4 6. アダプテーション鑑賞(映画『ロミオとジュリエット』) 7. Chapter 5 8. Chapter 6 9. Chapter 7 10. Chapter 8 11. 予備日 12. アダプテーション鑑賞(映画『ロミオとジュリエット』) 13. 後期のまとめ <p>[資料の配付方法と掲載場所]</p> <p>KISSシステムを利用する。</p> <p>[成績評価方法]</p> <p>平常の授業への取り組み(30%)、授業中のクイズ(30%)、レポート試験(40%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]</p> <p>クイズについては全体的に指導、期末レポートについては希望者のみ個別に対応する。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p>			

授業科目名 (副題)	英語講読(b)
担当者	渡邊 理恵子
<p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 【教養1-1】自らの専門領域を越え、人生社会を牽引するための知識・技術を身に付けている。 成績評価方法: 平常の授業への取り組み、授業中のクイズ、レポート試験</p> <p>[テキスト(ISBN)] 書籍名: シンプリー・シェイクスピア 著者名: Jim Knudse 出版社名: 南雲堂 ISBN: 9784523176695</p> <p>[参考文献(ISBN)]</p>	

授業科目名 (サブタイトル(副題))	英語コミュニケーション(a)		
担当者	桂山 康司		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他			
<p>[到達目標]</p> <p>①文語、口語のどちらの一方にも偏ることなく、バランスのとれた英語表現力を身に付けることができる。 ②自身の英語力を自覚することを通じて、自然な英文とはどのようなものかについて十分理解できるようになる。 ③言葉のもつ、多様でニュアンス豊かな表現のあり方を感じ、言語表現に対する感性を鍛錬することができる。 ④自分の思いを相手にうまく伝えることができるようになる。</p> <p>[授業概要]</p> <p>～文学的表現の味読～ 単に表面上の大意を把握するだけでは飽き足らずに、さらに、言葉のもつ、多様でニュアンス豊かな表現のあり方を感じするには、優れた英文の実例、例えば、文学作品に親しむことが一番の近道です。しかし、文学などというものはどこか近寄りがたいところがあって、ただ漫然と読むだけでは、どこまで味わうことができているのか、おぼつかないところがあり、いわんや、日本人には外国語である英語で書かれた作品を味読するとなればその困難は言うまでもないでしょう。そんな悩みのある方にお勧めなのが、英文は平易と見えても、その語る内容には、簡単には読み飛ばせない、奥行きを感じさせる古典文学作品の味読です。 毎回、十分な準備と、しっかりした心構えで出席することが必要です。がんばりましょう。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>各回の授業について、確実に予習・復習を行うこと(各回、予習・復習合わせて1時間程度)。</p> <p>[授業計画]</p> <p>イギリスの詩人・批評家・小説家であるウェイン(1925-94)の佳品“The Valentine Generation”を、こまやかな想いの一つ一つを丹念に拾い上げながら精読し、愛や、人というものについて、一緒に考えてみましょう。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 導入。短編小説の表現上の特質を、長編小説や詩と対比することで、解説します。 2. テキストpp. 20~21を精読します。 3. テキストpp. 21~22を精読します。 4. テキストpp. 23~24を精読します。 5. テキストpp. 24~25を精読します。 6. テキストpp. 26~27を精読します。 7. テキストpp. 28~29を精読します。 8. テキストpp. 30~31を精読します。 9. テキストpp. 32~33を精読します。 10. テキストpp. 34~35を精読します。 11. テキストpp. 36~37を精読します。 12. テキストpp. 38~40を精読します。 13. テキスト本文についての理解度確認テスト・解説 <p>[資料の配付方法と掲載場所]</p> <p>授業資料は適宜当日に紙媒体で配布する。</p> <p>[成績評価方法]</p> <p>理解度確認テスト(50%)、小テスト(20%)、授業態度(30%)で評価します。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]</p> <p>理解度確認テストを回収後、解答の解説を行います。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p>			

授業科目名 (副題)	英語コミュニケーション(a)
担当者	桂山 康司
<p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 【教養1-1】自らの専門領域を越え、人生社会を牽引するための知識・技術を身に付けている。 成績評価方法: 理解度確認テスト(50%)、小テスト(20%)、授業態度(30%)で評価します。</p> <p>[テキスト(ISBN)] 書籍名: Twentieth-Century British Authors 著者名: 九頭見一士 編注 出版社名: 金星堂 ISBN: 4764703564</p> <p>[参考文献(ISBN)]</p>	

授業科目名 (サブタイトル(副題))	英語コミュニケーション(b)		
担当者	水野 尚之		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	○
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他			
<p>[到達目標]</p> <p>①クローズ・リーディング(close reading)を実践することで、優れた英文をじっくり味わうことができるようになる。 ②言葉のもつ、多様でニュアンス豊かな表現のあり方を感じ、言語表現に対する感性を鍛錬することができる。 ③相手の気持ちや内面を正しく理解できるようになる。 ④異文化理解を通じて、人間理解を深めることができる。</p> <p>[授業概要]</p> <p>～文学的表現の味読～ 英語には5つの文型しかありません。これらの文型を確実に理解することが大切です。その上で、英文の味読を目指しましょう。 毎回、十分な準備と、しっかりした心構えで出席することが必要です。がんばりましょう。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>各回の講義についての予習・復習を行うこと(各回、予習・復習合わせて1時間程度)。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 導入。次週からの授業の説明。TOEIC、英検などのショートテスト(成績評価には入れません。) 2. テキストUnit 1のタスクを行ないます。TOEIC、英検などのショートテスト(成績評価には入れません。) 3. テキストUnit 2のタスクを行ないます。TOEIC、英検などのショートテスト(成績評価には入れません。) 4. テキストUnit 3のタスクを行ないます。TOEIC、英検などのショートテスト(成績評価には入れません。) 5. テキストUnit 4のタスクを行ないます。TOEIC、英検などのショートテスト(成績評価には入れません。) 6. テキストUnit 5のタスクを行ないます。TOEIC、英検などのショートテスト(成績評価には入れません。) 7. テキストUnit 6のタスクを行ないます。TOEIC、英検などのショートテスト(成績評価には入れません。) 8. テキストUnit 7のタスクを行ないます。TOEIC、英検などのショートテスト(成績評価には入れません。) 9. テキストUnit 8のタスクを行ないます。TOEIC、英検などのショートテスト(成績評価には入れません。) 10. テキストUnit 9のタスクを行ないます。TOEIC、英検などのショートテスト(成績評価には入れません。) 11. テキストUnit 10のタスクを行ないます。TOEIC、英検などのショートテスト(成績評価には入れません。) 12. テキストUnit 11のタスクを行ないます。TOEIC、英検などのショートテスト(成績評価には入れません。) 13. テキスト本文についての理解度確認テスト。 <p>[資料の配付方法と掲載場所]</p> <p>授業中に紙媒体の資料を配布します。</p> <p>[成績評価方法]</p> <p>理解度確認テスト(50%)、小テスト(20%)、授業態度(30%)で評価します。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]</p> <p>理解度確認テストを回収後、解答の解説を行います。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p>			

授業科目名 (副題)	英語コミュニケーション(b)
担当者	水野 尚之
<p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 【教養1-1】自らの専門領域を越え、人生社会を牽引するための知識・技術を身に付けている。 成績評価方法: 理解度確認テスト、小テスト</p> <p>[テキスト(ISBN)] 書籍名: Make Your Way 著者名: 田地野 彰 他 出版社名: 金星堂 ISBN: 978-4-7647-4196-6</p> <p>[参考文献(ISBN)]</p>	

授業科目名 (サブタイトル(副題))	音楽鑑賞 (音楽への誘い)
担当者	小松原 祥子
[アクティブラーニング授業]	
PBL(課題解決型)	反転授業
ディスカッション・ディベート	グループワーク
プレゼンテーション	実習、フィールドワーク
その他	
<p>[到達目標] ①音楽を聴き、そこにあるメッセージや基本的な特徴を感じとることができる。 ②感じたことを言葉や絵で表現することができる。</p> <p>[授業概要] 音源や映像を用いて、西洋音楽の歴史的流れに沿った視点と、音楽の構造的な魅力に基づいた選曲により、分かりやすい解説を加えながら鑑賞します。簡単な打楽器等でそれぞれの楽曲の特徴を表現し、体感します。大学図書館を通してパスワード・IDを履修者に配布し、200万曲以上のクラシックを中心とした名演が聴ける音楽データベースNaxos Music Libraryを用いて様々な演奏、楽器、アレンジ等を比較鑑賞します。 受講人数は40名以内に制限を行います。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回の講義についての予習・復習を行うこと(各回、予習・復習合わせて1時間程度)。予習・復習として、ナクソス・ミュージック・ライブラリーやインターネット等で、各回の時代やテーマに関する楽曲を聴いておくことが望ましい。</p> <p>[授業計画] PI図書館を通して、200万曲以上のクラシックを中心とした名演が聴けるNaxos Music Libraryを履修者全員が利用できます。 様々な時代や演奏を比較聴取したり、曲を聴いて色で絵や図形楽譜を描いたり、楽曲の特徴をリズム等簡単な表現で感じるアクティブ・リスニングを行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.オリエンテーション 様々な時代の音楽の魅力(クラシックの始まり～バロックまで) ビートとメロディーの受け渡し:「G線上のアリア」 弦楽器をソロで歌わせたバッハ:「無伴奏チェロ組曲」他 2.バロックから古典派へ 拍だけじゃない 音楽世界を拡大・深化させたバッハ・ハイドン・モーツァルト モーツァルト「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」並べてみよう メロディーの順番は? 3.ウィーン古典派 ハイドン・モーツァルト・ベートーヴェン 4.古典派のオペラ モーツァルトのオペラ「魔笛」～最も高い声、最も低い声 歌いながら語る レチタティーヴォ 5.古典派からロマン派へ(ヴィルトゥオーゾとサロン音楽～リスト、ショパン他) リズム動機で音楽づくり ベートーヴェンの交響曲 超絶技巧のリスト VS サロン音楽のショパン 6.ロマン派のオペラ・声楽曲 プッチーニのオペラ「ラ・ボエーム」他 7.ロマン派 標題音楽とイメージ 8.近代:音の光と影 印象派の世界(ドビュッシーとラヴェル) 9.現代:西洋と日本の現代音楽 10.音楽史まとめ 様々な楽器の独奏曲の魅力 11.比較鑑賞① テンポ 拍子とリズム 12.比較鑑賞② メロディー 対照と構造 3部形式:シューマン「子供の情景」・ショパン「子犬のワルツ」・ブラームス「ハンガリー舞曲第5番」 13.古今東西の名指揮者・演奏家たち <p>[資料の配付方法と掲載場所] 資料は授業中に配布します。</p> <p>[成績評価方法] 授業態度(20%)、ワークシート(50%)、ミニレポート(30%)で評価します。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] ワークシートは、特徴的な内容を授業内で紹介した上で、コメントします。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p>	

授業科目名 (副題)	音楽鑑賞 (音楽への誘い)
担当者	小松原 祥子
<p>【この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)】 【教養1-1】自らの専門領域を越え、人生社会を牽引するための知識・技術を身に付けている。 成績評価方法: 授業態度(20%)、ワークシート(50%)、ミニレポート(30%)</p> <p>[テキスト(ISBN)]</p> <p>[参考文献(ISBN)]</p>	

授業科目名 (サブタイトル(副題))	キャリアへのアプローチ I		
担当者	山本 美貴		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他			
<p>[到達目標]</p> <p>① 短期大学生としてのスタディー・スキルを実践することができる。 ② 仕事を核にしたライフデザインを描くことができる。 ③ さまざまな業種や職業があり、多様な生き方の選択があることを理解することができる。 ④ 自分に合った職業とは何かを見つけることができる。</p> <p>[授業概要]</p> <p>経営者の経験を活かして、社会の仕組みや自立心を培うキャリア教育について指導します。 最初に適性診断ツールを活用して学生自らの能力を分析し、在学中のどのような点に力を注いで学習すればよいかを見出します。また、さまざまな就労モデルと働き方について知り、ワーク・ライフ・バランスや、職業人の常識である労務知識、社会保険制度について学習します。キャリアサポートセンターとも連携した授業を実施します。 就職活動の準備として、さまざまな課題に取り組み、習得していきます。 総合生活学科の「秘書士」「プレゼンテーション実務士」資格を希望する学生は、必修科目に該当します。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>日々の新聞やテレビ等でのニュースに関心を持ち、経済界の動向を知ることや自主学習とします。外部講師を招いて話を聞いた授業では、必ず振り返りを書きますので授業時間内に提出してください。 各回の講義についての予習・復習を行うこと(各回、予習・復習合わせて4時間程度)。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション <ul style="list-style-type: none"> ・ノートテイキングとレポートの書き方、授業の進め方について 2. 行吉学園の沿革 <ul style="list-style-type: none"> ・建学の精神、学園の教育綱領、行吉学園の歴史・現在・未来 3. 就職活動へのアプローチ <ul style="list-style-type: none"> ・自己管理と時間管理(タイムスケジュール) 4. 就職活動の流れ <ul style="list-style-type: none"> ・就活用語を知る ・インターンシップや資格について・Sナビ活用について 5. 働き方と生きがい <ul style="list-style-type: none"> ・女性の仕事と目標 6. 企業・仕事研究 I <ul style="list-style-type: none"> ・ガクチカの書き方 ・日本語力やプレゼンテーション力について 7. 職業と仕事理解 I <ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな企業を知る、非正規と正規社員の違い ・学生と社会人との違い 8. ワーク・ライフ・バランスとは <ul style="list-style-type: none"> ・女性の生涯と仕事とのバランス 9. 女性のための労務知識 <ul style="list-style-type: none"> ・社会人としての義務(税金、社会保険)、働く人の権利等について 10. 職業と仕事理解 II <ul style="list-style-type: none"> ・業界についての理解 11. MATCH PLUS 変換 <ul style="list-style-type: none"> ・自己分析と個々の適性診断 ・夏のインターンシップについて 12. 企業・仕事研究 II <ul style="list-style-type: none"> ・ITの活用法と情報収集について 13. 各々のキャリアデザインを描く <ul style="list-style-type: none"> ・ラーニングスキル(文章力やプレゼンテーション力)を活かしてキャリアデザインを構築する ・振り返りとレポート提出 <p>[資料の配付方法及び掲載場所]</p> <p>授業資料は当日に紙媒体で配布する</p> <p>[成績評価方法]</p> <p>各回の提出物(70%)、レポート(30%)で評価します。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]</p> <p>レポートは後日添削をして返却します。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p>			

授業科目名 (副題)	キャリアへのアプローチ I
担当者	山本 美貴
<p>【この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)】 【教養9-1】主体的に社会参画を果たそうとする自立心を身に付けている。 成績評価方法: 提出物、レポートで評価します。</p> <p>[テキスト(ISBN)]</p> <p>[参考文献(ISBN)]</p>	

授業科目名 (サブタイトル(副題))	キャリアへのアプローチⅡ		
担当者	山本 美貴		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他			
<p>[到達目標]</p> <p>① 就職サイトが活用できるようになる。 ② エントリーシートが書けるようになる。 ③ 就職試験のためのマナーとして、文書・電話・Eメールが的確に使えるようになる。 ④ 面接で自信をもって自己PRができるようになる。 ⑤ 就職のためのグループディスカッションができるようになる。 ⑥ 自らの希望・実力に見合った就職先を見つけることができるようになる。</p> <p>[授業概要]</p> <p>経営者の経験を活かして、各授業回に就職活動のための実践的な指導を行います。業種や職種を理解するとともに、就職試験の具体例を知り、自らの希望職種の就職試験への計画を立てます。エントリーシートや履歴書を作成するにあたり、自己PRや志望動機を書く実習を行います。また、面接試験の準備として、社会人としてのマナーを習得し、実際にグループディスカッションや模擬グループ面接を行います。前期に「キャリアへのアプローチⅠ」の単位を修得した学生の継続受講を希望しますが、後期だけでも履修できます。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>キャリアへのアプローチⅡは演習授業のため、授業を休んだ場合には必ず自主的に休んだ日の内容を確認し、提出物があれば提出してください。毎回、就職に直接役立つ授業内容が実施されますので、必ず復習をして完成させ、実際に活用できるよう準備してください。</p> <p>各回の講義についての予習・復習を行うこと(各回、予習・復習合わせて1時間程度)。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 就職試験へのアプローチ <ul style="list-style-type: none"> ・就職活動に向けて、2年生の動向を知る ・ビジネスマナーの基本を身に付ける 自己分析Ⅰ <ul style="list-style-type: none"> ・自己PR、学生時代に力を注いだこと 自分の興味のある業界の調査 <ul style="list-style-type: none"> ・卒業生の就職先などを参考 就職サイトの活用法 <ul style="list-style-type: none"> ・秋冬のインターンシップについて 自己分析Ⅱ <ul style="list-style-type: none"> ・履歴書、志望動機の書き方 就職試験のための文書、電話、Eメール実習 <ul style="list-style-type: none"> ・就職活動に必要な電話、Eメール、送付状の実習 企業説明会のためのマナー <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶、言葉づかい、次回模擬面接の準備 模擬面接1実施 <ul style="list-style-type: none"> ・模擬グループ面接実施する 面接を振り返って、その対策 <ul style="list-style-type: none"> ・模擬グループ面接の反省と対策について 模擬面接2実施 <ul style="list-style-type: none"> ・面接練習を実施、初回を振り返り、改善して臨む グループディスカッションのためのマナー <ul style="list-style-type: none"> ・グループディスカッションとは、次回グループディスカッションの準備 グループディスカッション実施 <ul style="list-style-type: none"> ・グループディスカッションを実施 自己を客観的に振り返る <ul style="list-style-type: none"> ・就活計画書を作成する <p>[資料の配付方法及び掲載場所]</p> <p>授業資料は当日に紙媒体で配布する</p> <p>[成績評価方法]</p> <p>各回での課題提出物(50%)と積極的な授業への参加度(30%)、レポート(20%)で評価します。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]</p> <p>提出物は後日添削をして返却します。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p>			

授業科目名 (副題)	キャリアへのアプローチⅡ
担当者	山本 美貴
<p>【この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)】</p> <p>【教養3-1】主体的に社会参画を果たそうとする自立心を身に付けている。 成績評価方法:積極的な授業への参加と課題提出物の内容で評価します。</p> <p>【教養3-2】多様化が進む社会において、多様な対話力を身に付けている。 成績評価方法:積極的な授業への参加と課題提出物の内容で評価します。</p> <p>【テキスト(ISBN)】</p> <p>【参考文献(ISBN)】</p>	

授業科目名 (サブタイトル(副題))	教育学 (赤ちゃんを学ぼう)
担当者	平野 直美、安田 則子
[アクティブラーニング授業]	
PBL(課題解決型)	反転授業
ディスカッション・ディベート	グループワーク
プレゼンテーション	実習、フィールドワーク
その他	
<p>[到達目標]</p> <p>①将来を担う子ども達を愛情豊かに育てていくには何が大切か、どのようにすればよいのかを深く理解することができるようになる。 ②幼児教育に関する幅広い知識や多角的思考力および柔軟で創造性に富んだ思考力を身に付けることができるようになる。</p> <p>[授業概要]</p> <p>女性はお母さんになりうる性です。子どもを生み育てるとき、赤ちゃんってふしぎ！子どもってどんなことを考えているの？いろいろな疑問が生まれてきます。子どもを教育するには子どもの心を理解することがとても大切ですが、最近ではわがままで大人になりきれないお母さんがわが子を虐待するなど子育てに大きな問題ができています。愛で子どもを育てるお母さんになれるように、子どもの心理や母子のふれあい、健やかな発育・発達を科学的に考えていくことがこの講義のねらいです。まず、生涯発達における胎児(妊娠)期の重要な役割を科学的視点に立って学び、子どもの発達を脳科学の側面から考えていきます。次に、現代の子どもの取り巻く環境や、現代の子育て支援、子どもにとって遊びとは何か、を学んでいきます。幼児教育を広い視野から考えていく力を身に付けてください。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>各担当教員が講義中に示す参考図書や参考資料を各自で調べて自主学習を行ってください。 また各担当教員が提示する課題作成も行ってください。 各回の講義についての予習・復習を行うこと(各回、予習・復習合わせて4時間程度)。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 子どもの発達を脳科学から考えよう 1. オリエンテーション・子どもの脳の発達と臨界期 (平野) 2. 生涯発達における胎児(妊娠)期の重要な役割 (平野) 3. 生涯発達とアタッチメント (平野) 4. アタッチメントと脳・身体の発達 (平野) 5. アタッチメントと心理的発達 (平野) 6. 脳と心の関係・人はなぜ愛するか (平野) 7. 脳と心の関係・マルチトリートメントが脳に及ぼす影響について(平野) 2) 乳児の発育・発達について学ぼう 8. 乳児期の発育・発達について (安田) 9. 現代の子どもの取り巻く環境について (安田) 10. 現代の子育て支援について (安田) 11. 幼児期の発育・発達について (安田) 12. 子どもにとって遊びとは (安田) 13. 子どもの遊びから学んでみよう (安田) <p>[資料の配付方法と掲載場所]</p> <p>授業資料がある場合は授業後に manaba に掲載し、受講者がいつでも閲覧できるようにする。 必要に応じて授業当日にも配付する。</p> <p>[成績評価方法]</p> <p>授業態度(10%)、各担当教員の指示する提出物(90%)で評価します。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]</p> <p>提出物は、後日添削して返却します。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p>	

授業科目名 (副題)	教育学 (赤ちゃんを学ぼう)
担当者	平野 直美、安田 則子
<p>【この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)】</p> <p>【教養1-1】自らの専門領域を越え、人生社会を牽引するための知識・技術を身に付けている。 成績評価方法: 授業態度、提出物</p> <p>【教養2-1】自らの専門領域を越え、問題解決を図ろうとする創造性を身に付けている。 成績評価方法: 授業態度、提出物</p> <p>[テキスト(ISBN)]</p> <p>[参考文献(ISBN)]</p>	

授業科目名 (サブタイトル(副題))	芸術表現学		
担当者	川村 高弘		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他			
<p>[到達目標]</p> <p>①芸術表現の歴史について理解することができる。 ②現代社会の中で必要な美的感覚と感性を高めることができる。</p> <p>[授業概要]</p> <p>日本および世界の様々な音楽や美術といった芸術表現について、様々な音源や映像を鑑賞し、多様な視点から理解を深めていきます。また、芸術表現の歴史を理解し、芸術家の人物像・文化的背景・芸術構造などについても学びます。 自己課題をもって意欲的に授業に参加してください。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>授業中に紹介した作品については、図書館等を利用しながら復習し、作品の内容についての理解を深めてください。また、講義内容についても復習をし、自己課題について探求してください。 各回の講義についての予習・復習を行うこと(各回、予習・復習合わせて4時間程度)。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 芸術表現の意義 2. 現代美術を理解するための基礎知識①(色彩) 3. 平面における造形表現の実際 4. 現代美術を理解するための基礎知識②(構図・構成美) 5. 現代美術を理解するための基礎知識③(彫刻) 6. 立体における造形表現の実際 7. 中世の芸術表現とルネサンスの芸術表現 8. バロックの芸術表現とロココの芸術表現 9. 古典主義とロマン主義の芸術表現 10. 近現代の芸術表現 11. ミュージカルの歴史 12. ミュージカル鑑賞 13. 芸術表現における課題 <p>[資料の配付方法と掲載場所]</p> <p>授業資料は当日に紙媒体で配付する。</p> <p>[成績評価方法]</p> <p>授業態度(20%)、レポート・課題・作品等の提出物(30%)、小テスト(50%)で評価します。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]</p> <p>課題は提出後、添削して返却します。小テストは、回収後、解答の解説を行います。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p>			

授業科目名 (副題)	芸術表現学
担当者	川村 高弘
<p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 【教養1-1】自らの専門領域を越え、人生社会を牽引するための知識・技術を身に付けている。 成績評価方法: 授業態度、レポート・課題及び作品製作等の提出物、小テストで評価します。</p> <p>[テキスト(ISBN)]</p> <p>[参考文献(ISBN)] 書籍名: はじめての音楽史 著者名: 片桐功・須貝静直ら 出版社名: 音楽之友社 ISBN: 4-276-11010-6 書籍名: 西洋美術史 著者名: 高階秀爾(監修) 出版社名: 美術出版社 ISBN: 4-568-40030-9 書籍名: 日本美術史 著者名: 辻惟雄(監修) 出版社名: 美術出版社 ISBN: 4-568-40034-1</p>	

授業科目名 (サブタイトル(副題))	言葉と文学	(古典の世界を楽しむ—恋愛に見る女性の生き方)
担当者	長田 あかね	
[アクティブラーニング授業]		
PBL(課題解決型)		反転授業
ディスカッション・ディベート		グループワーク
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク
その他	小テスト、小レポート、ミニツツペーパーの提出と授業でのフィードバック	

[到達目標]

- ①授業で取り上げた古典文学や古典芸能の作品の魅力を知り、深く理解・鑑賞できるようになる。
- ②日本の古典文学や古典芸能の作品が後世へ与えた文化的影響について見聞を広め、その価値を理解できるようになる。
- ③日本古典文学史に関する基礎的な知識を身に付け、概要を説明できるようになる。

[授業概要]

日本の古典文学や古典芸能には、さまざまな恋愛模様が描かれています。そこに描かれるいろいろな愛の形は、現代を生きる私たちにも通じるものばかりです。この授業では、そうした古典作品の中から『源氏物語』とその関連作品を中心に取り上げ、原文と現代語訳を織り交ぜながら読んでいきます。作品の理解を深めるため、さまざまな映像資料や絵画資料を使って、なるべくビジュアルに授業を展開します。合わせて、日本の古典文学の歴史と伝統についての基礎的な知識も学んでいきます。文学鑑賞に力点を置くので、古文が苦手な学生でも十分に理解できる授業です。

受講生は、ふだんから日本の古典文学に関係する事柄に敏感になってください。少し注意すると、身のまわりにたくさん存在することに気づきます。

なお、単位は授業の内容を理解してはじめて与えられるものです。授業をよく聞き、わからないことは積極的に質問してください。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

授業内で前回までの授業内容に関する小テストを行うので、必ず復習しておいてください。

また、授業内容に関する小レポートの課題を出しますので、図書館で参考図書を調べるなどして、授業時間外に仕上げてください。

各回の講義についての予習・復習を行うこと(各回、予習・復習合わせて4時間程度)。

[授業計画]

- 1.日本文学史の流れを知るⅠ(中古)
- 2.『源氏物語』の成立と紫式部について知る
- 3.『源氏物語』のあらすじと登場人物について知る
- 4.『源氏物語』第9帖「葵」の読解
- 5.『源氏物語』第10帖「賢木」の読解
- 6.『源氏物語』第9帖「葵」と第10帖「賢木」の和歌の鑑賞
- 7.『源氏物語』の文化的影響について知る
- 8.日本文学史の流れを知るⅡ(中世・近世)
- 9.能・狂言について知る
- 10.能「葵上」の読解
- 11.能「葵上」の鑑賞
- 12.能「葵上」と『源氏物語』の関係について知る
- 13.日本古典文学の歴史と文化的影響に関する復習と理解度の確認

[資料の配付方法と掲載場所]

授業資料は当日に紙媒体で配布する。

[成績評価方法]

理解度確認テスト(50%)、小テストと小レポート(40%)、授業態度(10%)で評価します。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

小テストと小レポートは、後日添削して返却します。返却にあわせて解説も行います。理解度確認テストは、解答をmanabaで公開します。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

授業科目名 (副題)	言葉と文学 (古典の世界を楽しむ—恋愛に見る女性の生き方)
担当者	長田 あかね
<p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 【教養1-1】自らの専門領域を越え、人生社会を牽引するための知識・技術を身に付けている。 成績評価方法: 理解度確認テスト、小テスト、小レポート、ミニツツペーパー</p> <p>[テキスト(ISBN)]</p> <p>[参考文献(ISBN)] 書籍名:なし。毎回レジユメを配布。著者名: 出版社名: ISBN:</p>	

授業科目名 (サブタイトル(副題))	情報A		
担当者	堀 桂太郎		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他			
<p>[到達目標] 授業を通して、次のことを目標とします。 ①Windowsパソコンのカスタマイズ、基本操作ができる。 ②ワードを使って文書処理ができる。 ③表計算ソフトExcelを使って基本的なデータ処理ができる。 ④インターネットを適切に利用できる。</p> <p>[授業概要] 高度情報化が更に進展し、ますます拡大されてきています。このような情報化の進展に伴い、一人ひとりが「情報」を主体的に選択し、活用していくための基礎的な資質を身に付けることが大切です。そしてパソコンやソフトウェアの操作能力向上だけでなく、情報モラル・セキュリティ等、情報化社会で生きる姿勢・態度の学習も必要です。本講義では、ワープロ、表計算等のアプリケーションプログラムの活用を通して、コンピュータの役割と機能について理解し、適切に活用する能力を身に付けます。コンピュータの基本操作から、Windowsシステムの基礎知識、ファイルの扱い方、情報の利用、情報モラルの理解について学びます。 この授業で身に付ける知識や技術は、パソコンを安全かつ、効果的に利用するための基礎となります。したがって、ここで身に付けたことは他のいろいろな授業での学習にも役に立ちます。各自でテキストを参考にしながら、特に復習や課題作成に積極的に取り組んでください。すでにパソコンを使っている人にとっても、基礎知識や技術が正しく理解できているかどうかを確認しながら学習を進めてください。基礎だからと言って学習がおろそかにならないよう、目的意識を明確にして粘り強く学習してください。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] タッチタイピングの練習 及び 各回の講義についての予習・復習、課題への取り組みを行ってください(各回、合わせて1時間程度)。</p> <p>[授業計画] 1. 本講義のガイダンス、大学の情報環境の習得 2. インターネット、タッチタイピング 3. 電子メール、文書作成の基礎 4. 情報モラル、ページ設定と文書の印刷 5. 情報セキュリティ、文書の編集 6. コンピュータのハードウェア、表の作成 7. コンピュータのソフトウェア、図形と画像の扱い 8. データサイエンス入門1: 表計算の基礎 9. データサイエンス入門2: 表計算の参照方式 10. データサイエンス入門3: 関数 11. データサイエンス入門4: 基本統計 12. データサイエンス入門5: データ集計と可視化 13. まとめ</p> <p>[資料の配付方法と掲載場所] 教科書以外の授業資料はすべて当日に紙媒体またはmanabaで配付します。欠席者には必要に応じて授業後に掲載やデータ配信を行います。</p> <p>[成績評価方法] タイピング(10%)、課題(70%)、最終レポート(20%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 課題やレポートは、添削して返却します。また、必要に応じて個別に問題点等を指摘し、改善を求めます。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p>			

授業科目名 (副題)	情報A
担当者	堀 桂太郎
<p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>【教養1-1】自らの専門領域を越え、人生社会を牽引するための知識・技術を身に付けている。 成績評価方法: 課題、最終レポート</p> <p>【教養3-1】主体的に社会参画を果たそうとする自立心を身に付けている。 成績評価方法: タイピング、課題、最終レポート</p> <p>[テキスト(ISBN)] 書籍名:30時間アカデミックOffice2021 著者名:杉本くみ子 出版社名:実教出版 ISBN:9784407359435</p> <p>[参考文献(ISBN)]</p>	

授業科目名 (サブタイトル(副題))	情報B		
担当者	堀 桂太郎		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他			

[到達目標]

授業を通して、次のことを目標とする。

- ① AI・データサイエンスの必要性を説明できる
- ② 社会で活用されているデータ・AI活用の事例を例示できる
- ③ データの活用方法について説明できる
- ④ データ・AIを扱う上での留意事項を説明できる

[授業概要]

AI・データサイエンスに関して興味・関心を持ち、AI時代に身に付けておくべき素養(新たな読み書きそろばん)を修得し、日常や仕事の場で使いこなせるようになることが大切である。本授業は、広い様々な視点からAI・データサイエンスに関して基礎的な知識を修得し、日常の生活や仕事で使いこなせるようになる内容を扱う。学修方法は以下の通りである。

- ・指定のe-Learning教材を活用し、全てオンライン上で学修する
- ・各回の動画コンテンツを全て視聴し、途中でメモを取り、分からない用語を調べながら学修する
- ・各回ごとに用意されている確認テストを指定の期限までに提出し、第13回以降に最終レポートを提出する

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

指定のe-Learning教材の学修及び 前回の講義の復習(1時間程度)

各回の動画コンテンツの視聴率を授業の出欠として反映する。視聴率100%を出席、70%までを遅刻、70%未満を欠席として扱う。

[授業計画]

1. 本講義のガイダンス、データサイエンスとは
2. 社会で起きている変化
3. 社会で活用されているデータ
4. データ・AIの活用領域
5. データ・AI利活用のための技術
6. データ活用とは
7. データ・AI利活用の現場
8. データ・AI利活用の最新動向
9. データを読む
10. データを説明する
11. データを扱う
12. データ・AIを扱う上での留意事項
13. データを守る上での留意事項とまとめ

[資料の配付方法と掲載場所]

すべての授業資料は、指定のe-Learningサイトからダウンロードできる。

[成績評価方法]

確認テスト(70%)、最終レポート(30%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

確認テストで示される採点結果を踏まえ、動画と資料を再度見直すこと。質問等があれば担当教員が対応する。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

授業科目名 (副題)	情報B
担当者	堀 桂太郎
<p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>【教養2-1】自らの専門領域を越え、問題解決を図ろうとする創造性を身に付けている。 成績評価方法: 確認テスト、最終レポート</p> <p>【教養3-1】主体的に社会参画を果たそうとする自立心を身に付けている。 成績評価方法: 確認テスト、最終レポート</p> <p>[テキスト(ISBN)]</p> <p>[参考文献(ISBN)]</p>	

授業科目名 (サブタイトル(副題))	食事学 (女性のためのかしこい食事学)
担当者	竹内 美貴
[アクティブラーニング授業]	
PBL(課題解決型)	反転授業
ディスカッション・ディベート	グループワーク
プレゼンテーション	実習、フィールドワーク
その他	
<p>[到達目標]</p> <p>①「食べる」ということの根本的な意味が理解できる。 ②日常の食事作りや食材の購入、外食時に、授業で学んだ知識を実践できるようになる。</p> <p>[授業概要]</p> <p>思春期の女性にはしばしば痩せに憧れ、間違ったダイエット等を実行している人を見受けます。誤ったダイエットは貧血や摂食障害をまねく可能性が高く、さらに将来、妊娠や出産の時、母子共にいろいろな危険を及ぼす可能性も考えられます。そこで、まず、栄養や食事についての基礎を学び、理想的な食事がどのようなものかを理解し、正しい食生活が実行できるように考察します。ダイエットの方法を学ぶ内容ではありません。 またこの時期から適正な体重を維持し、バランスのとれた食事を心がけることは、将来、生活習慣病の発症の予防になります。生活習慣病を理解し、予防する食べ方を学びます。 積極的な受講を望みます。 受講人数は40名までとします。多い場合は抽選により決定します。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>担当教員から課題が出されることもあります。授業内容を復習し、図書館等で授業内容に関連した必要な情報を調べるなど事後学習も行ってください。毎回、授業内で提出物があります。復習をしておいてください。各回の講義についての予習・復習を行うこと(各回、予習・復習合わせて4時間程度)。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業内容の説明 ダイエットの落とし穴 2. 若い女性に必要な栄養素 3. 簡単レシピの紹介 ①主菜 4. 簡単レシピの紹介 ②副菜 5. 中食・外食を利用するときのポイント 6. 食事をより楽しむために 7. 体に入った食物は体の中でどうなるのか 8. 体に入った食物の栄養について 9. 毎日食べている食材の産地を知る 10. 日本人の食生活の現状と理想の食生活について 11. 何をどのくらい食べればよいのか 12. かしこく食べましょう 13. 野菜を長持ちさせる方法・貯蔵方法・加工方法について、課題提出 <p>[資料の配付方法と掲載場所]</p> <p>・配付資料がある場合、manabaにて掲載し、必要に応じて、紙媒体でも配付する</p> <p>[成績評価方法]</p> <p>授業態度(40%)、提出物(60%)で評価します。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]</p> <p>レポート等の提出物を点検し、解説を行います。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p>	

授業科目名 (副題)	食事学 (女性のためのかしこい食事学)
担当者	竹内 美貴
<p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>【教養2-1】自らの専門領域を越え、問題解決を図ろうとする創造性を身に付けている。 成績評価方法: 授業態度(40%)、提出物(60%)で評価します。・ 2名の担当者の評価を平均して最終の評価とします。</p> <p>【教養2-2】健全な社会を維持するため、健康に留意し、健全な精神を育成する態度を身に付けている。 成績評価方法: 授業態度(40%)、提出物(60%)で評価します。・ 2名の担当者の評価を平均して最終の評価とします。</p> <p>[テキスト(ISBN)]</p> <p>[参考文献(ISBN)]</p>	

授業科目名 (サブタイトル(副題))	食品科学	(元気で健康な生活を送るために)	
担当者	平田 庸子、中村 智英子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他			
<p>[到達目標]</p> <p>①食生活と健康について、幅広い知識を身に付けることができる。 ②日常生活において、食品の正しい情報を理解し選択することができる。</p> <p>[授業概要]</p> <p>この授業では、多様な食品の中から賢く食品の表示を読み取り選択する方法や、栄養と健康について幅広く学び、豊かな健康な生活を送るために役立つ事柄を学びます。 日ごろから栄養や食品に関することに興味を持って色々な情報を得ておいて下さい。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>各回の講義についての予習・復習を行うこと(各回、予習・復習合わせて4時間程度)。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション・食品の選び方Ⅰ(食品表示の見方)(平田) 2. 食品の選び方Ⅱ(食品保存)(平田) 3. 食品の選び方Ⅲ(魚介類と肉類)(平田) 4. 食品の成分と健康Ⅰ(食品の色と栄養機能性成分)(平田) 5. 食品の成分と健康Ⅱ(サプリメント)(平田) 6. 乳酸菌と酵素について(平田) 7. 新甘味料について(平田) 8. 発酵食品について(中村) 9. 食中毒(中村) 10. 調理時の衛生管理(中村) 11. 食品汚染物質(中村) 12. 食品添加物(中村) 13. 食品の遺伝子組み換え(中村) <p>* 順序は変更になる場合があります。</p> <p>[資料の配付方法と掲載場所]</p> <p>授業資料はすべて当日に紙媒体で配付する。授業後の掲載やデータ配信は行わない。</p> <p>[成績評価方法]</p> <p>課題レポート(80%)、受講態度(20%)で評価します。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]</p> <p>レポートは、毎回の授業内で解説を行います。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p>			

授業科目名 (副題)	食品科学 (元気で健康な生活を送るために)
担当者	平田 庸子、中村 智英子
<p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 【教養2-2】健全な社会を維持するため、健康に留意し、健全な精神を育成する態度を身に付けている。 成績評価方法: レポート、受講態度</p> <p>[テキスト(ISBN)] 書籍名: なし 著者名: なし 出版社名: なし ISBN: なし</p> <p>[参考文献(ISBN)] 書籍名: 配付資料プリント 著者名: なし 出版社名: なし ISBN: なし</p>	

授業科目名 (サブタイトル(副題))	心理学 I		
担当者	佐伯 恵里奈、巢黒 慎太郎、井奥 智大		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他			
<p>[到達目標] 心理学の知見や考え方をを用いて、人間の心理と行動について説明することができる。</p> <p>[授業概要] 心理学とは、人の行動や心の働きについて研究する学問分野です。この授業では科学としての心理学を幅広く学び、心理学の各領域の基礎的な知識を身に付けることを通じて、人の行動と心について理解と考えを深めることをねらいとします。心理学の各領域をそれぞれ専門とする複数の教員によるオムニバス形式の授業をおこない、複数の側面から人の心と行動をとらえ、理解する態度を身に付けます。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回の授業で学習したことを復習し、自分自身の体験や日常生活上で経験することがらと関連づけつつ理解を深めるよう努めること。各回、予習・復習合わせて4時間程度。</p> <p>[授業計画] 1. 心理学とは(佐伯 恵里奈) 2. 知覚(佐伯 恵里奈) 3. 学習(佐伯 恵里奈) 4. 記憶(佐伯 恵里奈) 5. 発達(巢黒 慎太郎) 6. パーソナリティ(巢黒 慎太郎) 7. 心理的ストレスと健康(巢黒 慎太郎) 8. 心の健康問題への心理学的支援(巢黒 慎太郎) 9. 対人関係の形成と発展(井奥 智大) 10. 集合行動とマスコミュニケーション(井奥 智大) 11. ステレオタイプと偏見(井奥 智大) 12. 集団過程(井奥 智大) 13. まとめ(佐伯 恵里奈)</p> <p>[資料の配付方法と掲載場所] 授業当日に紙媒体で配布します。授業後にデータの配信を行う場合もあります。</p> <p>[成績評価方法] 授業時に出題する課題(リアクションペーパー、グループディスカッション等)(40%)、試験(60%)を総合的に判断して評価します。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] ・授業中の課題は、授業内やmanaba上でフィードバックします。 ・試験については、答案回収後、解答の解説を行い、質問を受け付けます。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p>			

授業科目名 (副題)	心理学 I
担当者	佐伯 恵里奈、巢黒 慎太郎、井奥 智大
<p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 【教養1-1】自らの専門領域を越え、人生社会を牽引するための知識・技術を身に付けている。 成績評価方法: 授業時に出題する課題(リアクションペーパー、グループディスカッション等)、試験</p> <p>[テキスト(ISBN)] 書籍名:資料を配布します 著者名: 出版社名: ISBN:</p> <p>[参考文献(ISBN)] 書籍名:授業で紹介します 著者名: 出版社名: ISBN:</p>	

授業科目名 (サブタイトル(副題))	数学 I (数学と数的思考)
担当者	穴田 恭輔
[アクティブラーニング授業]	
PBL(課題解決型)	反転授業
ディスカッション・ディベート	○ グループワーク
プレゼンテーション	○ 実習、フィールドワーク
その他	

[到達目標]

自然、文化、日常生活の中に潜む数学の不思議さを感じ、数的思考および論理的思考力を培う。

[授業概要]

近年、数学に対する生徒の興味や関心が低くなっていると言われる。しかし、私たちの身の回りには、多くの数学が潜んでいる。また、日常生活のコミュニケーションは論理の上に成り立っており、筋道を立てて考える・表現する力は、人として社会で生きるための必須の力である。
身近な数学、不思議な数学を学びながら、数的思考および論理的思考力を培う。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

前時までの復習をする。

[授業計画]

1. 自然や文化の中の数学
2. 三段論法
3. 命題論理(かつ, または, 否定)
4. 命題論理の応用
5. 数えること～位取り記数法
6. 規則を見つけての数え上げ
7. 集合・関係・類別
8. 合同式
9. 連立合同式
10. ピックの定理
11. 黄金比, シルバー比
12. 2次方程式の解
13. まとめ

[資料の配付方法と掲載場所]

授業資料は当日に紙媒体で配布する。

[成績評価方法]

授業態度、各回の発表(50%)、試験(50%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

基本的に授業時間内で解説します。採点が済んだ試験を返却します。希望者はとりにきてください。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

授業科目名 (副題)	数学 I (数学と数的思考)
担当者	穴田 恭輔
<p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>【教養2-1】自らの専門領域を越え、問題解決を図ろうとする創造性を身に付けている。 成績評価方法: 各回の発表、試験</p> <p>【教養2-2】健全な社会を維持するため、健康に留意し、健全な精神を育成する態度を身に付けている。 成績評価方法: 各回の発表、試験</p> <p>[テキスト(ISBN)]</p> <p>[参考文献(ISBN)]</p>	

授業科目名 (サブタイトル(副題))	数学Ⅱ (統計学入門)
担当者	穴田 恭輔
[アクティブラーニング授業]	
PBL(課題解決型)	反転授業
ディスカッション・ディベート	グループワーク
プレゼンテーション	○ 実習、フィールドワーク ○
その他	

[到達目標]

自ら課題を設定し、データを集め、結果を予想し、必要な統計的処理をほどこして、予測や結果を評価できる。表計算ソフトを統計処理に利用できる。

[授業概要]

講義では、統計学の基本的な概念の「理解」と、基本的な技法が「つかえる」ことをめざす。また、表計算ソフト(Excel)を常時利用する。PC教室で行う。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

前時までの復習に加え、各回の課題を提出してから次の授業に臨む。

[授業計画]

1. データの整理
2. 代表値
3. 平均値
4. かたよりとばらつき
5. 分散、標準偏差
6. 相関係数
7. 回帰直線
8. 正規分布
9. 標準正規分布
10. 推定と検定
11. 各自の課題の設定と検討
12. 各自の課題の検討と完成
13. まとめ

[資料の配付方法と掲載場所]

授業資料は初回に紙媒体で配布する。

[成績評価方法]

各回の発表(30%)、提出物(30%)、試験(40%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

提出ファイルには修正案を付けて返却します。修正が求められたら、再提出してください。採点が済んだ試験を返却します。希望者はとりにきてください。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

授業科目名 (副題)	数学Ⅱ (統計学入門)
担当者	穴田 恭輔
<p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 【教養2-1】自らの専門領域を越え、問題解決を図ろうとする創造性を身に付けている。 成績評価方法: 各回の課題提出</p> <p>[テキスト(ISBN)]</p> <p>[参考文献(ISBN)]</p>	

授業科目名 (サブタイトル(副題))	造形美術 (コンピュータで絵を描こう)
担当者	尼子 実沙
[アクティブラーニング授業]	
PBL(課題解決型)	反転授業
ディスカッション・ディベート	○ グループワーク
プレゼンテーション	実習、フィールドワーク
その他	
<p>[到達目標]</p> <p>①自分の思い描いているイメージをコンピュータ上で具現化できるようになる。 ②表現の目的を考え、伝える相手により伝わりやすい表現ができるようになる。</p> <p>[授業概要]</p> <p>コンピュータを使って絵を描き、オリジナル絵本やコミュニケーションツールを制作します。主に商業デザインに関わるグラフィックデザイナーの経験を有する教員が制作を通して、デザインの基本と2種のグラフィックアプリケーション(Adobe Photoshop・Adobe Illustrator)の基本操作を指導します。 絵を描いたり、何かを表現したりすることが苦手又は嫌いという人も、やり直しが簡単にできるコンピュータを使って少しずつ仕上げていくことができます。また、絵を描くことは好きだけど、コンピュータは苦手という人も、文字入力や表計算などの一般的なコンピュータの使い方ではないペイントソフトから入門することで、コンピュータを楽しく学ぶことができます。 同時にデザインに必要な知識や技術も学ぶことができるので、自分が伝えたいイメージを、伝える相手にわかりやすく表現できる力もつけていくことができます。 毎回授業の最初にその日の重要な事項や新しい機能を説明しますので、できるだけ遅刻はしないよう出席してください。指導方法の関係で上限10名とします。(多数の場合はくじ引き)</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>その日の課題が授業内に完成しない場合は、次の授業までに各自制作を進めてください。 各回の講義についての予習・復習を行うこと(各回、予習・復習合わせて1時間程度)。</p> <p>[授業計画]</p> <p>1. オリエンテーション 2種類のアプリケーション(Adobe Photoshop・Adobe Illustrator)の概要説明 使用機材の基本的な使い方 / 絵本のラフ制作① 2. アドビ・フォトショップの実践 01_ アドビ・フォトショップの基本使用方法の説明 作画ツールの使い方 / 絵本のラフ制作② 3. アドビ・フォトショップの実践 02_ レイヤーの概念と使い方 / 絵本の素材制作① 4. アドビ・フォトショップの実践 03_ 選択ツールの使い方 / 絵本の素材制作② 5. アドビ・フォトショップの実践 04_ 色の仕組みと色調補正 / 絵本の素材制作③ 6. アドビ・イラストレーターの実践 01_ 画像の配置とトリミング / 絵本の素材制作④ 7. アドビ・イラストレーターの実践 02_ 文字、段落の理解とレイアウト / 絵本データの作成① 8. アドビ・イラストレーターの実践 03_ オブジェクトの制作 / 絵本データの作成② 9. アドビ・イラストレーターの実践 04_ レイアウトの基本 / コミュニケーションツールの制作① 10. アドビ・イラストレーターの実践 05_ パターンの活用 / 絵本データの作成③ 11. アドビ・イラストレーターの実践 06_ 絵本データの印刷、製本 12. 2種類のアプリケーションの実践_ コミュニケーションツールの制作② 13. 制作物の内容とアプリケーションの理解度の確認</p> <p>[資料の配付方法と掲載場所]</p> <p>授業資料は必要に応じて当日に紙媒体で配布する。</p> <p>[成績評価方法]</p> <p>提出物、作品の完成度(80%)、授業態度(20%)で評価します。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]</p> <p>授業内で各作品に対する評価コメントをお伝えします。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p>	

授業科目名 (副題)	造形美術 (コンピュータで絵を描こう)
担当者	尼子 実沙
<p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>【教養2-1】自らの専門領域を越え、問題解決を図ろうとする創造性を身に付けている。</p> <p>成績評価方法: アプリケーションの使い方を理解し、相手により伝わりやすい表現を模索しながら、自分の意図や表現したいイメージが適切に具現化できているかを確認する。</p> <p>[テキスト(ISBN)]</p> <p>[参考文献(ISBN)]</p>	

授業科目名 (サブタイトル(副題))	体育講義		
担当者	矢野 真理		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	○
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他			
<p>[到達目標]</p> <p>①生涯にわたり継続的に運動を行うことの重要性を理解し、自らの生活の中に取り入れることができる。 ②これらの実践に伴う知識や態度を養うことができる。</p> <p>[授業概要]</p> <p>現代社会においては、健康・体力づくりの重要性が指摘されている。この授業では、生涯にわたって健康を維持・増進し、健康で文化的な人間らしい生活を営むための基礎的な事柄を中心に講義する。またグループワークにおいて、各自の価値観、気づき等についての振り返りを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・携帯電話の使用は認めません。 ・他学生の聴講に影響を与える私語は慎んでください。 ・積極的な態度で授業に参加し、自らの健康問題として取り組んでください。 <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>自らの運動経験やクラブ活動経験を事前に整理し、受講してください。授業後は、健康増進や体力の向上を目指し、自ら運動に取り組むようにしてください。 各回の講義についての予習・復習を行うこと(各回、予習・復習合わせて4時間程度)。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 講義の概要について 健康の概念 2. 子どもの発育発達と運動 3. 高齢者の健康 高齢者の健康の現状 4. 体力と健康 からだと構造と機能について 5. 休養・こころと健康 睡眠、ストレスと健康の関係 6. 栄養と健康 栄養、食生活と健康の関係 7. 運動と健康 有酸素運動と無酸素運動 8. 生活習慣病 9. ストレッチング 効果と実践方法 10. 喫煙・アルコールと健康 11. 妊娠と出産 女性のからだ、避妊 12. スポーツ外傷と応急処置 13. 理解度確認テスト・解説 <p>[資料の配付方法と掲載場所]</p> <p>授業資料は事前にkissシステムクラスプロファイルに掲載し、授業当日に紙媒体でも配付する。</p> <p>[成績評価方法]</p> <p>理解度確認テスト(20%)、レポート(30%)、授業態度(50%)で評価します。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理解度確認テストは、回収後、解答の解説を行います。 ・レポートは、後日添削して返却します。 <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p>			

授業科目名 (副題)	体育講義
担当者	矢野 真理
<p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 【教養2-2】健全な社会を維持するため、健康に留意し、健全な精神を育成する態度を身に付けている。 成績評価方法:レポート、授業態度</p> <p>[テキスト(ISBN)]</p> <p>[参考文献(ISBN)] 書籍名:健康づくりのための運動の科学 著者名:鷗木 秀夫 出版社名:化学同人 ISBN:9784759817102</p>	

授業科目名 (サブタイトル(副題))	体育講義		
担当者	矢野 真理		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	○
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他			
<p>[到達目標]</p> <p>①生涯にわたり継続的に運動を行うことの重要性を理解し、自らの生活の中に取り入れることができる。 ②これらの実践に伴う知識や態度を養うことができる。</p> <p>[授業概要]</p> <p>現代社会においては、健康・体力づくりの重要性が指摘されている。この授業では、生涯にわたって健康を維持・増進し、健康で文化的な人間らしい生活を営むための基礎的な事柄を中心に講義する。またグループワークにおいて、各自の価値観、気づき等についての振り返りを行う。 ・携帯電話の使用は認めません。 ・他学生の聴講に影響を与える私語は慎んでください。 ・積極的な態度で授業に参加し、自らの健康問題として取り組んでください。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>自らの運動経験やクラブ活動経験を事前に整理し、受講してください。授業後は、健康増進や体力の向上を目指し、自ら運動に取り組むようにしてください。 各回の講義についての予習・復習を行うこと(各回、予習・復習合わせて4時間程度)。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 講義の概要について 健康の概念 2. 子どもの発育発達と運動 3. 高齢者の健康 高齢者の健康の現状 4. 体力と健康 からだと構造と機能について 5. 休養・こころと健康 睡眠、ストレスと健康の関係 6. 栄養と健康 栄養、食生活と健康の関係 7. 運動と健康 有酸素運動と無酸素運動 8. 生活習慣病 9. ストレッチング 効果と実践方法 10. 喫煙・アルコールと健康 11. 妊娠と出産 女性のからだ、避妊 12. スポーツ外傷と応急処置 13. 理解度確認テスト・解説 <p>[資料の配付方法と掲載場所]</p> <p>授業資料は事前にkissシステムクラスプロファイルに掲載し、授業当日に紙媒体でも配付する。</p> <p>[成績評価方法]</p> <p>理解度確認テスト(20%)、レポート(30%)、授業態度(50%)で評価します。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理解度確認テストは、回収後、解答の解説を行います。 ・レポートは、後日添削して返却します。 <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p>			

授業科目名 (副題)	体育講義
担当者	矢野 真理
<p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 【教養2-2】健全な社会を維持するため、健康に留意し、健全な精神を育成する態度を身に付けている。 成績評価方法:レポート、授業態度</p> <p>[テキスト(ISBN)]</p> <p>[参考文献(ISBN)] 書籍名:健康づくりのための運動の科学 著者名:鷗木 秀夫 出版社名:化学同人 ISBN:9784759817102</p>	

授業科目名 (サブタイトル(副題))	体育実技		
担当者	矢野 真理		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他			
<p>[到達目標]</p> <p>①スポーツやレクリエーション実践を通して体力の維持向上ができるようになる。 ②生活の中に運動習慣をとり入れ実践できるようになる。</p> <p>[授業概要]</p> <p>実技種目は、バドミントン、卓球、バレーボール、ダンス、体カトレーニング等のスポーツ、レクリエーションの何れかの種目を季節・実情に合わせて実習します。 ・スポーツウェア、スポーツシューズを着用し、アクセサリは外す、長い髪は束ねてください。 ・自他の健康・安全に留意するとともに、積極的な態度で取り組んでください。 ・貴重品や持ち物は各自で管理してください。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>自分に必要な運動の質と量が確保できるよう、自己の健康と体力の現状を観察してください。 取り組むスポーツ種目については、ルールや試合の流れに興味をもち積極的に観戦を心がけてください。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業についてのガイダンス 体力測定 2. ネット型ゲームの実践 基本技術の習得 3. ネット型ゲームの実践 ルールの理解 4. ネット型ゲームの実践 ゲームの進め方 5. ネット型ゲームの実践 ゲームの攻防とフォーメーション 6. ネット型ゲームの実践 ゲームとチームワーク 7. ネット型ゲームの実践 実技テスト 8. ゴール型ゲームの実践 基本技術の習得 9. ゴール型ゲームの実践 ルールの理解 10. ゴール型ゲームの実践 ゲームの進め方 11. ゴール型ゲームの実践 ゲームの攻防とフォーメーション 12. ゴール型ゲームの実践 戦法とチームワーク 13. ゲームの理解度と技術上達度の確認 <p>[資料の配付方法と掲載場所]</p> <p>授業資料は当日に紙媒体で配付する。</p> <p>[成績評価方法]</p> <p>授業態度(50%)、実技テスト(50%)で評価します。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]</p> <p>実技テスト終了後、ゲームルールの理解については必要に応じて再確認し、運動技術の向上については講評を行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p>			

授業科目名 (副題)	体育実技
担当者	矢野 真理
<p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 【教養2-2】健全な社会を維持するため、健康に留意し、健全な精神を育成する態度を身に付けている。 成績評価方法: 授業態度、実技テスト</p> <p>[テキスト(ISBN)]</p> <p>[参考文献(ISBN)] 書籍名: 観るまえに読む大修館スポーツルール2025 著者名: 大修館書店編集部 出版社名: 大修館書店 ISBN: 978-4469280012</p>	

授業科目名 (サブタイトル(副題))	体育実技		
担当者	矢野 真理		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他			
<p>[到達目標]</p> <p>①スポーツやレクリエーション実践を通して体力の維持向上ができるようになる。 ②生活の中に運動習慣をとり入れ実践できるようになる。</p> <p>[授業概要]</p> <p>実技種目は、バドミントン、卓球、バレーボール、ダンス、体カトレーニング等のスポーツ、レクリエーションの何れかの種目を季節・実情に合わせて実習します。 ・スポーツウェア、スポーツシューズを着用し、アクセサリは外す、長い髪は束ねてください。 ・自他の健康・安全に留意するとともに、積極的な態度で取り組んでください。 ・貴重品や持ち物は各自で管理してください。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>自分に必要な運動の質と量が確保できるよう、自己の健康と体力の現状を観察してください。 取り組むスポーツ種目については、ルールや試合の流れに興味をもち積極的に観戦を心がけてください。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業についてのガイダンス 体力測定 2. ネット型ゲームの実践 基本技術の習得 3. ネット型ゲームの実践 ルールの理解 4. ネット型ゲームの実践 ゲームの進め方 5. ネット型ゲームの実践 ゲームの攻防とフォーメーション 6. ネット型ゲームの実践 ゲームとチームワーク 7. ネット型ゲームの実践 実技テスト 8. ゴール型ゲームの実践 基本技術の習得 9. ゴール型ゲームの実践 ルールの理解 10. ゴール型ゲームの実践 ゲームの進め方 11. ゴール型ゲームの実践 ゲームの攻防とフォーメーション 12. ゴール型ゲームの実践 戦法とチームワーク 13. ゲームの理解度と技術上達度の確認 <p>[資料の配付方法と掲載場所]</p> <p>授業資料は当日に紙媒体で配付する。</p> <p>[成績評価方法]</p> <p>授業態度(50%)、実技テスト(50%)で評価します。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]</p> <p>実技テスト終了後、ゲームルールの理解については必要に応じて再確認し、運動技術の向上については講評を行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p>			

授業科目名 (副題)	体育実技
担当者	矢野 真理
<p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 【教養2-2】健全な社会を維持するため、健康に留意し、健全な精神を育成する態度を身に付けている。 成績評価方法: 授業態度、実技テスト</p> <p>[テキスト(ISBN)]</p> <p>[参考文献(ISBN)] 書籍名: 観るまえに読む大修館スポーツルール2025 著者名: 大修館書店編集部 出版社名: 大修館書店 ISBN: 978-4469280012</p>	

授業科目名 (サブタイトル(副題))	日本国憲法		
担当者	宇多 鼓次朗		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他			
<p>[到達目標]</p> <p>1.学生が、憲法の基本原理を正確に理解したうえで、それらを説明できるようになること。 2.学生が、日本の統治原理、および統治機構の構造を正確に理解したうえで、それらを説明できるようになるとともに、主権者・有権者として国政に関わる意識を持つことができるようになること。 3.学生が、基本的人権の観念を正確に理解したうえで、それらを説明できるようになるとともに、日常生活が自己及び他者の基本的人権が保障されているうえに成り立っていることを自覚できるようになること。</p> <p>[授業概要]</p> <p>【授業の概要】 本講義では、日本国憲法の基本基本原理、統治機構、および人権保障について取り扱う。各回とも講義形式により実施するが、できるだけ具体的な判例を取り上げることにより、憲法問題が現に生じているものであることを認識できるように努める。 【授業のねらい】 本講義は、憲法とは何か、および憲法の「考え方」を理解したうえで、我々の日常生活が憲法の基礎の上にあることを意識できるようになることを目的とする。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>各回の講義についての予習・復習を行うこと。 予習100分 復習90分</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.ガイダンス・憲法とは何か 2.権力分立 3.国民主権 4.民主制、選挙制度 5.国会・立法 6.内閣・行政 7.裁判所・司法権の意義 8.司法権の限界・違憲審査制 9.人権総論 10.幸福追求権 11.平等原則 12.思想・良心の自由 13.信教の自由 <p>[資料の配付方法と掲載場所]</p> <p>KISSシステム上で事前配布</p> <p>[成績評価方法]</p> <p>全5回の小テストで評価する。 小テストは、KISSシステム(ユニバーサルパスポート)内で期限を指定して公開するので、期限内に解答するものとする。 なお、質問や任意のレポートによる授業への積極的な参加に関しては、加点要素とする。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]</p> <p>小テスト解答締め切り後の授業において、講評を行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p>			

授業科目名 (副題)	日本国憲法
担当者	宇多 鼓次朗
<p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 【教養1-1】自らの専門領域を越え、人生社会を牽引するための知識・技術を身に付けている。 成績評価方法:小テスト</p> <p>[テキスト(ISBN)] 書籍名:一步先への憲法入門[第2版] 著者名:片桐 直人 出版社名:有斐閣 ISBN:9784641228238</p> <p>[参考文献(ISBN)] 書籍名:憲法 第八版 著者名:芦?部 信喜 出版社名:岩波書店 ISBN:9784000616072</p>	

授業科目名 (サブタイトル(副題))	日本国憲法		
担当者	宇多 鼓次朗		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他			
<p>[到達目標]</p> <p>1.学生が、憲法の基本原理を正確に理解したうえで、それらを説明できるようになること。 2.学生が、日本の統治原理、および統治機構の構造を正確に理解したうえで、それらを説明できるようになるとともに、主権者・有権者として国政に関わる意識を持つことができるようになること。 3.学生が、基本的人権の観念を正確に理解したうえで、それらを説明できるようになるとともに、日常生活が自己及び他者の基本的人権が保障されているうえに成り立っていることを自覚できるようになること。</p> <p>[授業概要]</p> <p>【授業の概要】 本講義では、日本国憲法の基本基本原理、統治機構、および人権保障について取り扱う。各回とも講義形式により実施するが、できるだけ具体的な判例を取り上げることにより、憲法問題が現に生じているものであることを認識できるように努める。 【授業のねらい】 本講義は、憲法とは何か、および憲法の「考え方」を理解したうえで、我々の日常生活が憲法の基礎の上にあることを意識できるようになることを目的とする。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>各回の講義についての予習・復習を行うこと。 予習100分 復習90分</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.ガイダンス・憲法とは何か 2.権力分立 3.国民主権 4.民主制、選挙制度 5.国会・立法 6.内閣・行政 7.裁判所・司法権の意義 8.司法権の限界・違憲審査制 9.人権総論 10.幸福追求権 11.平等原則 12.思想・良心の自由 13.信教の自由 <p>[資料の配付方法と掲載場所]</p> <p>KISSシステム上で事前配布</p> <p>[成績評価方法]</p> <p>全5回の小テストで評価する。 小テストは、KISSシステム(ユニバーサルパスポート)内で期限を指定して公開するので、期限内に解答するものとする。 なお、質問や任意のレポートによる授業への積極的な参加に関しては、加点要素とする。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]</p> <p>小テスト解答締め切り後の授業において、講評を行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p>			

授業科目名 (副題)	日本国憲法
担当者	宇多 鼓次朗
<p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 【教養1-1】自らの専門領域を越え、人生社会を牽引するための知識・技術を身に付けている。 成績評価方法:小テスト</p> <p>[テキスト(ISBN)] 書籍名:一步先への憲法入門[第2版] 著者名:片桐 直人 出版社名:有斐閣 ISBN:9784641228238</p> <p>[参考文献(ISBN)] 書籍名:憲法 第八版 著者名:芦?部 信喜 出版社名:岩波書店 ISBN:9784000616072</p>	

授業科目名 (サブタイトル(副題))	日本語入門 (生き生き日本語)
担当者	長田 あかね
[アクティブラーニング授業]	
PBL(課題解決型)	反転授業
ディスカッション・ディベート	グループワーク
プレゼンテーション	実習、フィールドワーク
その他	小テスト、小レポート、ミニツトペーパーの提出と授業でのフィードバック
<p>[到達目標]</p> <p>①ふだん使っている日本語の基礎的な知識を身に付け、日本語の特徴を正しく理解できるようになる。 ②日本の文化や日本人の持つ感性が、日本語に与えた影響について理解し、その魅力を説明できるようになる。</p> <p>[授業概要]</p> <p>私たちが日頃から使っている日本語は、いったいどのような言語なのでしょう。ふだん何気なく話している言葉も、それが現在の形になるまでにさまざまな変遷を辿ってきました。日本の歴史、文化、風土が作り上げてきた日本の言葉は、いろいろな顔を持っています。この授業では、私たちが日常的に使用している日本語をもっと理解するために、日本語に関するさまざまな事柄をテーマごとに学んでいきます。 受講生は、まずは関西ならではの言葉、若者に流行している言葉、聞き慣れない言葉など、身のまわりにあるいろいろな日本語に関心を持ってみてください。 なお、単位は授業の内容を理解してはじめて与えられるものです。授業をよく聞き、わからないことは積極的に質問してください。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>授業内に前回までの授業内容に関する小テストを行うので、必ず復習しておいてください。 また、授業内容に関する小レポートの課題を出すので、参考文献を調べるなどして、授業時間外に仕上げておいてください。 各回の講義についての予習・復習を行うこと(各回、予習・復習合わせて4時間程度)。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.日本語の基礎知識 2.日本語の文字1—漢字 3.日本語の文字2—平仮名、片仮名 4.いろは歌と50音図 5.日本の言葉1—漢語 6.日本の言葉2—和語、外来語(カタカナ語) 7.日本語の音 8.日本語のオノマトペ 9.日本語の文体 10.日本語の敬語1—尊敬語、謙譲語、丁寧語 11.日本語の敬語2—さまざまな実例 12.日本の方言 13.日本語の特徴と文化的背景に関する復習と理解度の確認 <p>[資料の配付方法と掲載場所]</p> <p>授業資料は当日に紙媒体で配布する。</p> <p>[成績評価方法]</p> <p>理解度確認テスト(50%)、小テストと小レポート(40%)、授業態度(10%)で評価します。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]</p> <p>小テストと小レポートは、後日添削して返却します。返却にあわせて解説も行います。 理解度確認テストは、解答をmanabaで公開します。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p>	

授業科目名 (副題)	日本語入門 (生き生き日本語)
担当者	長田 あかね
<p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 【教養3-2】多様化が進む社会において、多様な対話力を身に付けている。 成績評価方法: 理解度確認テスト、小テスト、小レポート、ミニツツペーパー</p> <p>[テキスト(ISBN)] 書籍名: なし。毎回レジユメを配布。著者名: 出版社名: ISBN:</p> <p>[参考文献(ISBN)]</p>	

授業科目名 (サブタイトル(副題))	日本の生活文化 (伝えたい食と生活)
担当者	細見 和子
[アクティブラーニング授業]	
PBL(課題解決型)	反転授業
ディスカッション・ディベート	グループワーク
プレゼンテーション	実習、フィールドワーク
その他	
<p>[到達目標]</p> <p>①様々な日本の生活文化について学び、日本人が昔から伝え育んできた日本の心を見直してみることができる。 ②将来の日常生活に活かすことができるような日本の生活文化の知識を習得することができる。</p> <p>[授業概要]</p> <p>四季の伝統行事、日本料理や和菓子の食文化、お箸の使い方など食生活のマナー、きもの文化とTPO、慶事や弔事のマナーなど、日本人が昔から伝承してきた文化やマナーについて習得します。 積極的な授業の参加を望みます。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>日本の生活文化について興味を持ち、関係する資料を収集し、さらに知識を深めてください。 各回の講義についての予習・復習を行うこと(各回、予習・復習合わせて4時間程度)。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 日本の生活文化の概要と授業の目的 日本料理の特徴 日本の伝統料理について 外国から見た日本 日本の伝統行事Ⅰ お正月や節句など年中行事について 日本の伝統行事Ⅱ 七五三や還暦など人生のお祝いごとについて 和菓子の文化 和菓子の世界 箸の文化 箸の文化は日本だけ? きもの文化 日本独特の衣装について 慶事の文化とマナー 結婚式の招待状の返事・ご祝儀袋の書き方、服装など 弔事の文化とマナー 葬儀の意味、お悔やみのことば、焼香の仕方など 日常生活の中のマナーと常識 挨拶やお辞儀、敬語の使い方など、手紙やはがきの書き方など 日本の生活文化やマナーについて(レポート提出) 理解度確認テストと解説 <p>* 講義の順序は、進行状況により変更になることがあります。</p> <p>[資料の配付方法と掲載場所]</p> <p>授業資料は当日に紙媒体で配布します。</p> <p>[成績評価方法]</p> <p>レポート(30%)、理解度確認テスト(70%)で評価します。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]</p> <p>課題等について、後日解説を行います。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p>	

授業科目名 (副題)	日本の生活文化 (伝えたい食と生活)
担当者	細見 和子
<p>【この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)】 【教養1-1】自らの専門領域を越え、人生社会を牽引するための知識・技術を身に付けている。 成績評価方法:レポート、理解度確認テスト</p> <p>[テキスト(ISBN)]</p> <p>[参考文献(ISBN)]</p>	

授業科目名 (サブタイトル(副題))	日本の伝統文化 (茶の湯に見る日本の美)
担当者	辻田 美和
[アクティブラーニング授業]	
PBL(課題解決型)	反転授業
ディスカッション・ディベート	グループワーク
プレゼンテーション	実習、フィールドワーク
その他	茶室にて簡単な茶の湯(茶道)体験に取り組みます
<p>[到達目標] 学ぶ、鑑賞する、体験するなど、さまざまな角度から「茶の湯」の世界を探求し、日本の美をみつめることができる。</p> <p>[授業概要] 茶の湯の世界には、茶碗などの陶芸作品、棗などの漆作品、きものなどの染織作品、茶杓や茶筌などの竹・木工作品、釜などの彫金作品、床の間に掛けられる書や絵画などの絵画作品、茶室などの建築作品、露地や庭などの環境空間作品、生け花やお香の美、懐石料理や和菓子の美というように、さまざまな日本の美がちりばめられています。 またこれらを、季節や状況に応じて取り合わせる美的な感覚も含め、総合的な芸術の世界が展開されます。点前や作法の知識を深めるだけではなく、さまざまな美術作品、美的空間、美的感覚と出会い、日本の美をみつめます。 授業では視聴覚教材やワークシートを通して学び、茶室にて簡単な茶の湯ワークショップ体験や茶道具の鑑賞活動に取り組みます。茶室利用時には、各自、白ソックスを持参してください。くわしくは事前に授業にて説明します。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 日常生活の中で、日本の美とは何かを観察し、茶の湯以外の日本の伝統文化にも関心を持って授業内容を復習してください。各回の講義についての予習・復習に取り組んでください。(各回、予習・復習合わせて1時間程度)</p> <p>[授業計画] 1.日本の伝統的芸術文化 茶の湯 2.茶のたどった道 3.茶のすがたともてなしの心・茶の湯を楽しむ①薄茶 4.茶のすがたともてなしの心・茶の湯を楽しむ②濃茶 5.日常と茶の湯 日日は好日 6.総合芸術としての茶の湯と現代の茶会 7.茶の湯体験ワークショップ①客の体験 8.美しい着物 9.懐石と菓子 10.茶道具の鑑賞 11.茶の湯とサブカルチャー 12.茶の湯体験ワークショップ②薄茶の体験 13.生活の中の「日本の美」</p> <p>[資料の配付方法と掲載場所] 授業資料、ワークシートは当日に紙媒体で配付します。</p> <p>[成績評価方法] 各授業の提出物(ワークシート)(80%)、受講態度(20%)で評価します。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 全てのワークシートは返却し、振り返りを行います。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p>	

授業科目名 (副題)	日本の伝統文化 (茶の湯に見る日本の美)
担当者	辻田 美和
<p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 【教養3-2】多様化が進む社会において、多様な対話力を身に付けている。 成績評価方法:各授業の提出物(ワークシート)、受講態度</p> <p>[テキスト(ISBN)]</p> <p>[参考文献(ISBN)] 書籍名:茶の湯 ころと美 著者名:表千家 出版社名:不審庵文庫編 ISBN:978-4--7611-0167-1</p>	

授業科目名 (サブタイトル(副題))	日本の伝統文化 (茶の湯に見る日本の美)
担当者	辻田 美和
[アクティブラーニング授業]	
PBL(課題解決型)	反転授業
ディスカッション・ディベート	グループワーク
プレゼンテーション	実習、フィールドワーク
その他	茶室にて簡単な茶の湯(茶道)体験に取り組みます
<p>[到達目標] 学ぶ、鑑賞する、体験するなど、さまざまな角度から「茶の湯」の世界を探求し、日本の美をみつめることができる。</p> <p>[授業概要] 茶の湯の世界には、茶碗などの陶芸作品、棗などの漆作品、きものなどの染織作品、茶杓や茶筌などの竹・木工作品、釜などの彫金作品、床の間に掛けられる書や絵画などの絵画作品、茶室などの建築作品、露地や庭などの環境空間作品、生け花やお香の美、懐石料理や和菓子の美というように、さまざまな日本の美がちりばめられています。 またこれらを、季節や状況に応じて取り合わせる美的な感覚も含め、総合的な芸術の世界が展開されます。点前や作法の知識を深めるだけではなく、さまざまな美術作品、美的空間、美的感覚と出会い、日本の美をみつめます。 授業では視聴覚教材やワークシートを通して学び、茶室にて簡単な茶の湯ワークショップ体験や茶道具の鑑賞活動に取り組みます。茶室利用時には、各自白ソックスを持参してください。くわしくは事前に授業にて説明します。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 日常生活の中で、日本の美とは何かを観察し、茶の湯以外の日本の伝統文化にも関心を持って授業内容を復習してください。各回の講義についての予習・復習に取り組んでください。(各回、予習・復習合わせて1時間程度)</p> <p>[授業計画] 1.日本の伝統的芸術文化 茶の湯 2.茶のたどった道 3.茶のすがたともてなしの心・茶の湯を楽しむ①薄茶 4.茶のすがたともてなしの心・茶の湯を楽しむ②濃茶 5.日常と茶の湯 日日は好日 6.総合芸術としての茶の湯と現代の茶会 7.茶の湯体験ワークショップ①客の体験 8.美しい着物 9.懐石と菓子 10.茶道具の鑑賞 11.茶の湯とサブカルチャー 12.茶の湯体験ワークショップ②薄茶の体験 13.生活の中の「日本の美」</p> <p>[資料の配付方法と掲載場所] 授業資料(ワークシート)は当日に紙媒体で配付します。</p> <p>[成績評価方法] 各授業の提出物(ワークシート)(80%)、受講態度(20%)で評価します。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 全てのワークシートは返却し、振り返りを行います。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p>	

授業科目名 (副題)	日本の伝統文化 (茶の湯に見る日本の美)
担当者	辻田 美和
<p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 【教養3-2】多様化が進む社会において、多様な対話力を身に付けている。 成績評価方法:各授業の提出物(ワークシート)、受講態度</p> <p>[テキスト(ISBN)]</p> <p>[参考文献(ISBN)] 書籍名:茶の湯 ころと美 著者名:表千家 出版社名:不審庵文庫編 ISBN:978-4--7611-0167-1</p>	

授業科目名 (サブタイトル(副題))	ボランティアの実践 (新しい自分を発見するために)
担当者	古田 貴美子
[アクティブラーニング授業]	
PBL(課題解決型)	反転授業
ディスカッション・ディベート	グループワーク
プレゼンテーション	○ 実習、フィールドワーク ○
その他	
<p>[到達目標] ボランティア活動への責任感と、社会での実践的なコミュニケーション力を身に付けることができる。</p> <p>[授業概要] ボランティア活動は、見返りを求めず、自ら進んで社会と関わり、社会の発展や他者の助けを行う活動です。大学とは異なる様々な場で活動することによって、様々な人やことと関わり、組織や様々な活動の仕方を実践的に学びます。本授業は、30時間のボランティア活動と5時間の授業を加えた通年授業で、ボランティアのあり方について深く学びます。対象となるボランティア活動は、学校から紹介されるもの、クラブ活動の中で行われるもの、地域連携推進委員会が募集するもの、居住地域での活動等のいずれでもいいですが、授業担当者の認定したものに限り、自分が関わってみたいボランティア活動を通して、これからの社会を支える協働のあり方を具体的に学びます。他者とのさまざまな関係は、多くの深い思考をもたらします。いろいろなボランティア活動に積極的に参加し、助ける、助けられるといった単純な図式にとらわれず、どんな場面からも学べる力を身に付けてください。相手の立場に立つてものを考えられる力を身に付けることは一生の財産です。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] ボランティア活動の前には、自分が参加する行事やイベントの内容に加えて、活動の目的、意味を確認してください。活動後には自らの行動を振り返り、報告書を提出してください。</p> <p>[授業計画] (学内授業) 1. オリエンテーション、ボランティア活動の理念、ボランティア活動関係機関について 2. ボランティアの募集について、コミュニケーション及び活動時のマナー、報告の仕方について 3. ボランティア活動の中間報告 夏休み中のボランティアについての諸注意 4. ボランティア活動の振り返り、ボランティア活動の事後ディスカッション、レポートの作成 5. ボランティア活動の報告会</p> <p>その他、個別にボランティア活動時間の確認、報告などの指導</p> <p>[資料の配付方法と掲載場所] 当日紙媒体で配布する。活動報告書書式、課題用紙は、manaba に掲載する。</p> <p>[成績評価方法] 各活動での事前準備、報告書(10%)、ボランティア活動時間30時間分(60%)、5コマ分の授業で指示される提出物やレポート(30%)で評価します。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] レポートに対する講評を返却します。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p>	

授業科目名 (副題)	ボランティアの実践 (新しい自分を発見するために)
担当者	古田 貴美子
<p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー (DP)] 【教養3-1】主体的に社会参画を果たそうとする自立心を身に付けている。 成績評価方法: 報告書、レポート</p> <p>[テキスト (ISBN)] 書籍名: プリント配布 著者名: 出版社名: ISBN:</p> <p>[参考文献 (ISBN)] 書籍名: ボランティア活動をデザインする 著者名: 田中 雅文 / 編著 出版社名: 学文社 ISBN: 9784762024054 書籍名: いちばんはじめのボランティア 著者名: 小野常明 松藤和生 編著 出版社名: 樹村房 ISBN: 88367-109-7</p>	

授業科目名 (サブタイトル(副題))	ボランティアの実践	(新しい自分を発見するために)	
担当者	竹内 美貴		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他			
<p>[到達目標] ボランティア活動への責任感と、社会での実践的なコミュニケーション力を身に付けることができる。</p> <p>[授業概要] 1年間の通年授業です。1年間で30時間以上のボランティア活動を実施することで、1単位を取得できます。対象となるボランティア活動は、学校から紹介されるもの、クラブ活動の中で行われるもの、地域連携推進委員会が募集するもの、居住地域での活動等のいずれでもよろしいですが、授業担当者の認定したものに限りま。そうした様々なボランティア活動を行うことで、その意義と価値について学びます。 他者のためより自分の勉強のためということを忘れず、謙虚さを失わずに取り組む姿勢が大切です。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] ボランティア活動の前に準備をしてください。自分が手伝う行事やイベントの主催者、目的や参加者等を調べ、当日の自分の役割を知り、心構えをしてください。活動後は、行動を振り返り、報告書を提出してください。</p> <p>[授業計画] 1.オリエンテーション(ボランティア活動の理念) 2.今後のボランティア活動について 5月の活動の募集、事前指導 3. 6月のボランティア活動の募集、事前指導 4. 7月のボランティア活動の募集、事前指導、及び5月の活動の事後指導 5. 8月、9月のボランティア活動の募集、事前指導、及び6月の活動の事後指導 6. 後期のボランティア活動について 募集と事前指導、及び7月8月の活動の事後指導 7. 11月のボランティア活動の募集、事前指導、及び10月の活動の事後指導 8. 12月のボランティア活動の募集、事前指導、及び11月の活動の事後指導 9. 1月以降のボランティア活動の募集、事前指導、及び12月の活動の事後指導 10. ボランティア活動の振り返り、レポートの作成</p> <p>[資料の配付方法と掲載場所] ・配付資料は、紙媒体で配付する。必要に応じてmanabaにて掲載する。</p> <p>[成績評価方法] 各活動での事前準備、報告書(30%)、ボランティア活動時間(60%)、5コマ分の授業で指示される提出物やレポート(10%)で評価します。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] ボランティアに行くごとに提出された報告書は、「ボランティアの実践まとめ」とともに、後日添削して返却します。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p>			

授業科目名 (副題)	ボランティアの実践 (新しい自分を発見するために)
担当者	竹内 美貴
<p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 【教養3-1】主体的に社会参画を果たそうとする自立心を身に付けている。 成績評価方法: 各活動での事前準備、報告書(30%)、ボランティア活動時間(60%)、5コマ分の授業で指示される提出物やレポート(10%)で評価します。</p> <p>[テキスト(ISBN)]</p> <p>[参考文献(ISBN)]</p>	

授業科目名 (サブタイトル(副題))	ボランティアの実践 (新しい自分を発見するために)	
担当者	松岡 恵	
[アクティブラーニング授業]		
PBL(課題解決型)		反転授業
ディスカッション・ディベート		グループワーク
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク
その他		○
<p>[到達目標] ボランティア活動への責任感と、社会での実践的なコミュニケーション力を身に付けることができる。</p> <p>[授業概要] 対象となるボランティア活動は、学校から紹介されるもの、クラブ活動の中で行われるもの、地域連携推進委員会が募集するもの、居住地域での活動等のいずれでもよろしいですが、授業担当者の認定したものに限りません。 1年間の通年授業です。1年間で30時間以上のボランティア活動を実施することにより、1単位を取得できます。自分自身の学びのためということを忘れず、謙虚さをもってボランティア活動に望んでください。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] ボランティア活動の前には、自分が手伝う行事やイベントの主催者、目的や参加者等を調べて当日の自分の役割を知るなどの心構えと準備をしてください。活動後には自らの行動を振り返り、活動ごとに報告書を作成し、提出してください。</p> <p>[授業計画] (学内授業) 1.オリエンテーション、ボランティア活動の理念、ボランティア活動関係機関について(4/○()) 2.ボランティアの募集について、ボランティア活動の中間報告、夏休み中のボランティアについての諸注意(7/○()) 3.コミュニケーションおよび活動時のマナー、報告の仕方について(10/○()) 4.ボランティア活動の振り返り、ボランティア活動の事前・事後ディスカッション、レポートの作成(11/○()) 5 ボランティア活動の報告会(1/○())</p> <p>その他、個別にボランティア活動時間の確認、報告などの指導</p> <p>[資料の配付方法と掲載場所] 授業の際に随時、プリントで配付します。ボランティア活動報告書の用紙が足りなくなった時にはその都度教員に伝えてください。</p> <p>[成績評価方法] 各活動での事前準備、ボランティア活動報告書(10%)、30時間以上のボランティア活動時間分(60%)、レポート(30%)で評価します。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] ボランティアに参加する都度、ボランティア先の責任者にサインをもらい、「参加報告書」を作成し、ボランティア時間をカードに記入しておいてください。「参加報告書」は長期休みの期間を除いてボランティア参加後原則2週間以内に授業者へ提出してください。年間5回の対面授業と、ボランティアに参加後に提出される「参加報告書」で確認し、フィードバックを行います。受講生はボランティア活動時間の累計が30時間以上になるまで各自、「報告書」を積み上げます。 最終課題は、短大生活におけるボランティアへの取り組みのまとめを提出します。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p>		

授業科目名 (副題)	ボランティアの実践 (新しい自分を見発見するために)
担当者	松岡 恵
<p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 【教養3-1】主体的に社会参画を果たそうとする自立心を身に付けている。 成績評価方法: ボランティア活動時間数・内容・取り組みの姿勢(対面授業も含め)、及びボランティア参加ごとに提出される「参加報告書」と最終課題レポートの内容</p> <p>[テキスト(ISBN)]</p> <p>[参考文献(ISBN)]</p>	